

◆ 江東区 ◆

# 中小企業の景況

令和5年度第4四半期

(令和6年1月～3月期)



永代橋





# 都内中小企業の景況（令和6年1月～3月）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

業況は前期同様の厳しさを推移、足踏み状態続く

## 都内中小企業の景況・6業種合計（D.I.）



今季の6業種合計の業況判断D.I.は、△5.5（前期△6.1）と前期同様の厳しさを推移し、足踏み状態が続いた。

業種別で見ると、業況は建設業においてわずかに好感感が強まったものの、その他の業種は前期同様の水準で推移した。

来期は、製造業・卸売業においては水面下ながらわずかに改善し、建設業は今期並の好感感が続くものの、不動産業は好調感が後退し、小売業・サービス業は今期同様の厳しさが続くことと予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-9.0	-9.1	-0.1	-6.9	2.2
卸売業	-9.1	-8.7	0.4	-6.4	2.3
小売業	-15.0	-14.4	0.6	-13.3	1.1
サービス業	-5.8	-6.3	-0.5	-4.8	1.5
建設業	8.1	10.5	2.4	10.4	-0.1
不動産業	5.5	5.9	0.4	1.9	-4.0
総合	-6.1	-5.5	0.6	-4.6	0.9

※前期（2023年10～12月） 来期（2024年4～6月）

### ＜製造業＞

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は増減なく推移し、受注残・収益は前期並の減少が続いた。業種別では、紙・紙加工品、印刷関連において、水面下ながら大きな改善が見られた。価格面では、販売価格、原材料価格ともに前期並の上昇が続いた。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「原材料高」（40%）、「売上の停滞・減少」（35%）、「人手不足」（17%）が上位を占めた。重点経営施策も前期同様に「販路を広げる」（53%）、「経費を節減する」（44%）、「人材を確保する」（18%）の順となった。

来期の業況は水面下ながらわずかに改善すると予想している。売上額は増減なく推移し、受注残、収益は今期並の減少が続くと見ている。価格面では販売価格、原材料価格ともに上昇が弱まると予想している。

### ＜卸売業＞

業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額はわずかに増加に転じ、収益は前期同様の減少幅で推移した。業種別に見ると化学製品、家具・建具が大幅に上向いた。価格面では販売価格はわずかに上昇が弱まり、仕入価格は前期並の上昇が続いている。

経営上の問題点の上位項目は「売上の停滞・減少」（37%）、2位に「仕入先からの値上げ要請」（25%）が上昇し、3位「利幅の縮小」（23%）の順となった。重点経営施策は「販路を広げる」（59%）、「経費を節減する」（41%）、3位に「人材を確保する」が上昇し、「情報力を強化する」と同率の17%となった。

来期の業況は水面下ながらわずかに改善すると予想している。売上額は増加傾向を強め、収益はわずかに改善すると見ている。価格面では販売価格・仕入価格ともに上昇が弱まると予想している。

### ＜小売業＞

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は前期並の減少が続いたものの、収益はわずかに持ち直した。業種別で見ると飲食店が大幅に持ち直し、繊維・衣服・身の回り品は水面下ながらわずかに改善した。価格面では販売価格、仕入価格ともに前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期並の苦しさで、在庫は適正水準で続いている。

経営上の問題点の上位項目は「売上の停滞・減少」（33%）、「仕入先からの値上げ要請」（21%）、3位に「利幅の縮小」が上昇し、「同業者間の競争の激化」と同率の19%となった。重点経営施策については前期同様に「経費を節減する」（45%）、「品揃えを改善する」（26%）、「宣伝・広告を強化する」（20%）の順となった。

来期の業況は今期並の厳しさが続くことと予想している。売上額、収益も今期並の減少が続くと予想している。価格面では販売価格、仕入価格ともにわずかに上昇を弱めると予想している。

### ＜サービス業＞

業況は前期同様の厳しさが続いたものの、売上額はやや増加傾向を強め、収益もわずかに改善した。業種別では、洗濯・理容・美容が水面下ながら改善した。価格面では料金価格、材料価格ともに前期並の上昇が続き、資金繰りも前期並の苦しさが続いている。

経営上の問題点の上位項目は1位に「人手不足」（30%）が上昇し、2位の「売上の停滞・減少」（28%）と入れ替わり、3位「材料価格の上昇」（25%）と続いている。重点経営施策は前期同様に「経費を節減する」（41%）、「販路を広げる」（38%）、「人材を確保する」（26%）が上位を占めた。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くことと見ており、売上額は今期並の水準が続き、収益は今期並の減少が続くと予想している。価格面では料金価格は今期並の上昇が続き、材料価格はわずかに上昇を弱めると見ている。

### ＜建設業＞

業況はわずかに好感感が強まった。売上額、受注残、施工高は前期同様の増加が続き、収益はわずかに増加に転じた。業種別では大企業請負、官公庁請負において好感感が強まった。価格面では請負価格はわずかに上昇傾向を強め、材料価格は前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期同様変わらず、在庫は適正水準が続いている。

経営上の問題点の上位項目は「材料価格の上昇」（54%）、「人手不足」（42%）、3位に「同業者間の競争の激化」（20%）が上昇した。重点経営施策は前期同様に「経費を節減する」（43%）、「人材を確保する」（42%）、「販路を広げる」（36%）と続いている。

来期の業況は今期並の好感感が続くことと予想している。売上額、受注残、施工高は今期同様の増加が続き、収益は増減なく推移すると見ている。価格面では請負価格はわずかに上昇を弱め、材料価格も上昇幅が縮小すると予想している。

### ＜不動産業＞

業況は前期並の好感感が続いた。売上額と収益はわずかに増加傾向を強めた。業種別では建売・土地売買がわずかに上向いた。価格面では販売価格、仕入価格ともに前期並の上昇が続いている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「商品物件の高騰」（34%）、「商品物件の不足」（27%）、「同業者間の競争の激化」（26%）と続いている。重点経営施策は「情報力を強化する」（39%）、「販路を広げる」（30%）、「経費を節減する」（26%）の順となった。

来期の業況はわずかに好感感が後退すると予想している。売上額、収益は増加傾向が一服すると見ている。価格面では販売価格、仕入価格ともに上昇を弱めると予想している。

〔注〕D.I. (Diffusion Index の略)

D.I. (デュー・アイ) は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとします。

○D.I. (季節調整済)

季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD.I.を過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD.I.値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

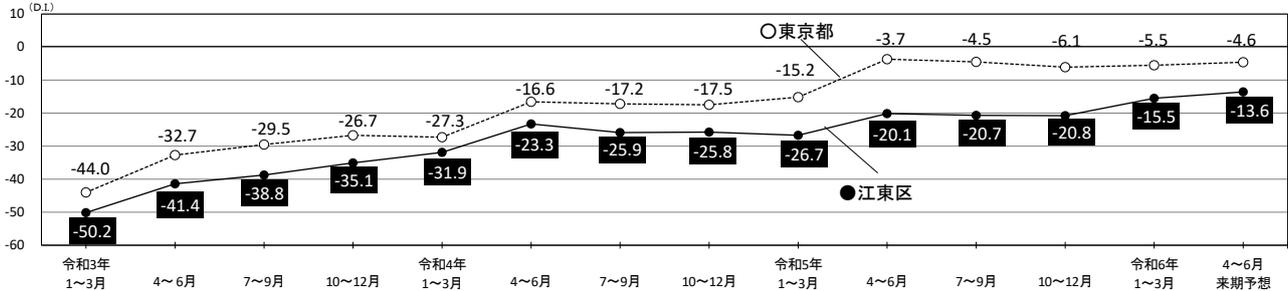
# 江東区内中小企業の景況（令和6年1月～3月）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

業況（ $\Delta 20.8 \rightarrow \Delta 15.5$ ）は水面下ながらかなり改善した。

～製造業で8.9ポイント、卸売業で6.7ポイント改善したが、サービス業で4.3ポイント悪化～

江東区内中小企業の景況・4業種合計（D.I.） ※全都是6業種合計



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-15.5（前期は-20.8）と水面下ながらかなり改善した。業種別に見ると、製造業で8.9ポイント、卸売業で6.7ポイント、小売業で2.6ポイント改善したが、サービス業で4.3ポイント悪化した。

来期の業況判断DIは、多少改善すると予想している。業種別に見ると、卸売業で大幅に持ち直しプラスに転じるが、製造業、小売業、サービス業は今期並の悪化水準で推移すると見込まれている。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-24.3	-15.4	8.9	-14.8	0.6
卸売業	-13.3	-6.6	6.7	5.5	12.1
小売業	-23.2	-20.6	2.6	-20.0	0.6
サービス業	-12.0	-16.3	-4.3	-16.3	0.0
総合	-20.8	-15.5	5.3	-13.6	1.9

※前期（2023年10～12月） 来期（2024年4～6月）  
※「総合」は上記の4業種でのD.I値

## <製造業>

業況は水面下ながら大幅に持ち直した。売上額と受注残は減少傾向が多少和らぎ、収益は減少・減益傾向が大幅に改善した。価格面では、販売価格は上昇が若干弱まり、原材料価格は厳しい状況ながら上昇傾向がかなり縮小した。原材料在庫は不足感が解消され適正水準となった。来期の業況は今期並の悪化幅が続くと予想している。売上額と収益は今期並の減少・減益幅で推移するが、受注残は幾分減少が強まると見込んでいる。販売価格は今期並の好調水準で推移し、原材料価格は今期同様の上昇傾向が続くと見込まれている。

## <卸売業>

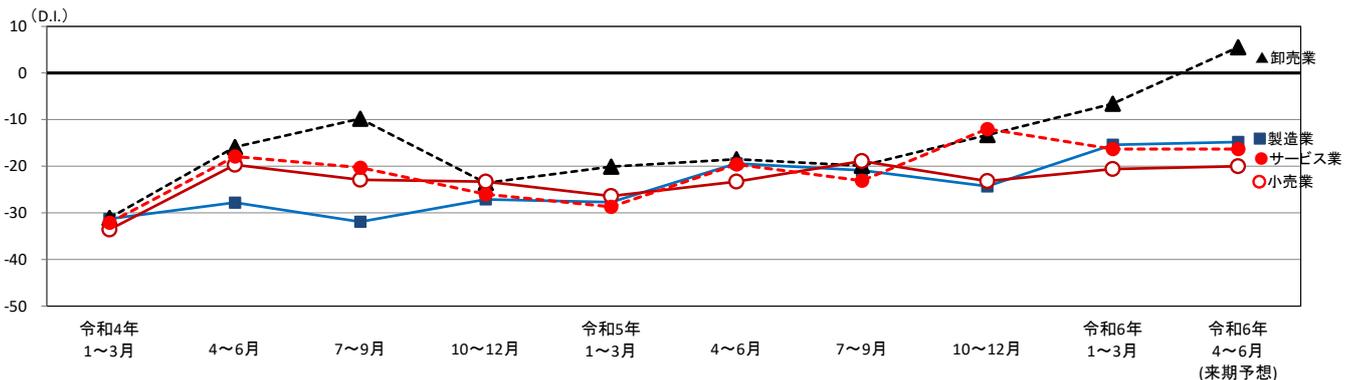
業況は悪化傾向がかなり改善した。売上額は大きく改善しプラスに転じ、収益も大幅に持ち直して減少・減益傾向が一服した。価格面では、販売価格は上昇がさらに強まり、仕入価格は厳しい状況ながら上昇傾向が若干弱まった。在庫は過剰から品薄に大きく転じた。来期の業況は大幅に持ち直しプラスに転じると予想している。売上額と収益は今期同様の水準で推移すると見込んでいる。販売価格は増加傾向がわずかに後退し、仕入価格は今期並の厳しい状況が続くと予想している。

## <小売業>

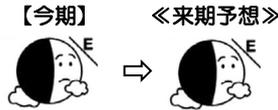
業況は悪化傾向が幾分弱まった。売上額は減少が若干改善したが、収益は前期並の減少・減益幅で推移した。価格面では、販売価格は前期並みの上昇水準が続き、仕入価格は上昇傾向が多少強まった。在庫は前期並の品薄感が推移した。来期の業況は今期並の悪化幅で推移すると見込んでいる。売上額は今期同様の減少が続くが、収益は減少・減益傾向が若干弱まると予想している。販売価格と仕入価格はともに上昇傾向が大幅に弱まると見込まれている。

## <サービス業>

業況は悪化傾向を強めた。売上額は前期並の減少が続いたが、収益は減少・減益傾向が多少弱まった。価格面では、料金価格は大幅に下降し厳しい状況に転じた。材料価格は上昇傾向が弱まり厳しさがかなり和らいだ。来期の業況は横這いで推移すると見込まれている。売上額は減少が多少強まり、収益は今期並の減少・減益幅で推移すると予想している。また、料金価格は改善しわずかにプラスに転じるが、材料価格は今期並の上昇が続くと見込まれている。



# 製造業



スポット判断表						
A	B	C	D	E	F	G
大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降

## 売上額・受注残・収益の動向と業況判断

業況は前期 $\Delta 24.3$ から今期 $\Delta 15.4$ と水面下ながら大幅に持ち直した。売上額（前期 $\Delta 7.5$ から今期 $\Delta 3.9$ ）と受注残（前期 $\Delta 9.7$ から今期 $\Delta 5.5$ ）は減少傾向が多少和らぎ、収益は前期 $\Delta 12.5$ から今期 $\Delta 2.9$ と減少・減益傾向が大幅に改善した。

## 価格・在庫動向

販売価格は前期 10.5 から今期 7.5 と上昇が若干弱まり、原材料価格は前期 28.9 から今期 22.4 と厳しい状況ながら上昇幅がかなり縮小した。原材料在庫は前期 $\Delta 3.2$ から今期 $\Delta 1.3$ と不足感が解消され適正水準となった。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期 $\Delta 8.4$ から今期 $\Delta 5.0$ と窮屈感が多少和らいだが、借入難易度は前期 $\Delta 7.2$ から今期 $\Delta 8.6$ と前期並の厳しさが続いた。今期借入をした・または予定ありの企業は 10.9%で、前期の 14.3%より 3.4 ポイント減少し、設備投資を実施した・または予定ありの企業は 7.8%で、前期の 9.4%より 1.6 ポイント増加した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

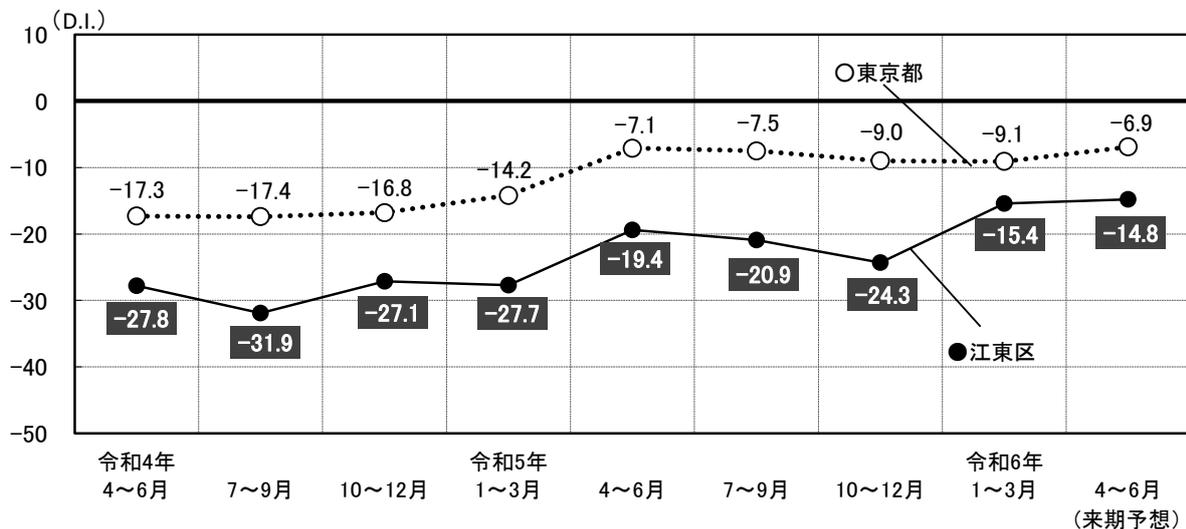
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が33.0%で今期も最多となり、次いで「原材料高」が24.3%、「同業者間の競争の激化」が11.7%で続いた。

重点経営施策は、「販路を広げる」と「経費を節減する」がともに40.8%で最多となり、次いで、「人材を確保する」が5.8%で続いた。

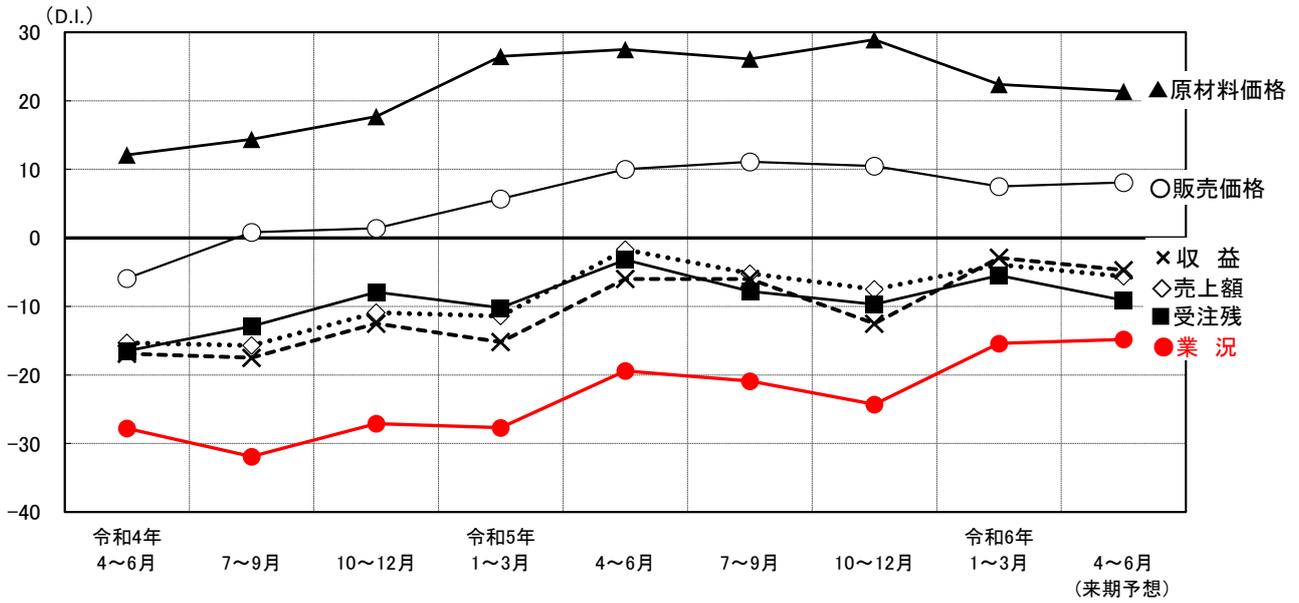
## 来期の見通し

来期の見通しは、業況（ $\Delta 14.8$ 予想）は今期並の悪化幅が続くと予想している。売上額（ $\Delta 5.6$ 予想）と収益（ $\Delta 4.7$ 予想）は今期並の減少・減益幅で推移するが、受注残（ $\Delta 9.1$ 予想）は幾分減少が強まると見込んでいる。販売価格（8.1予想）は今期並の好調水準で推移し、原材料価格（21.4予想）は今期同様の上昇傾向が続くと見込まれている。

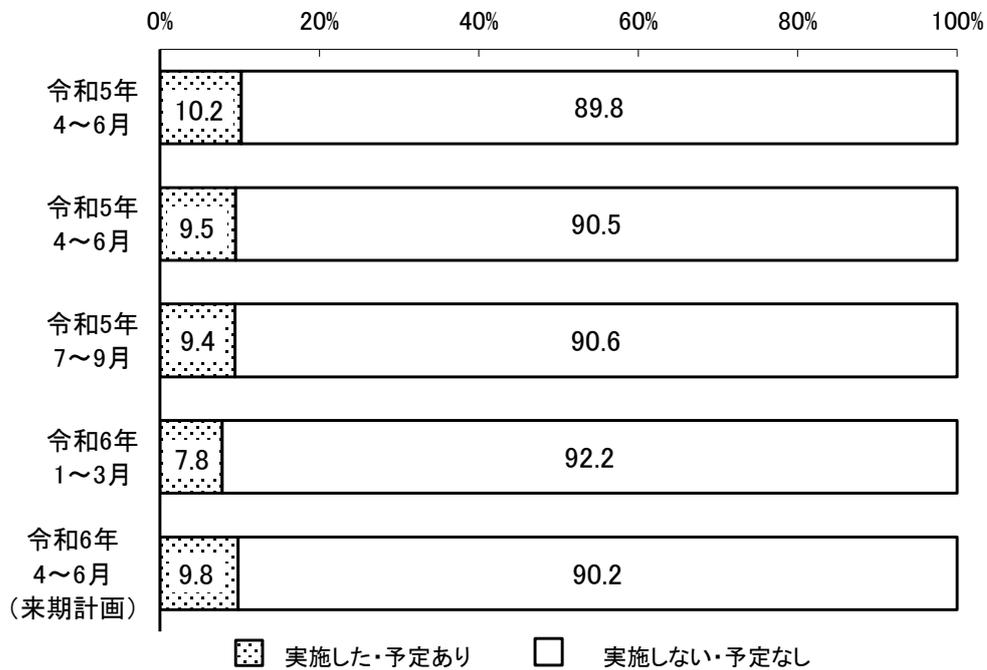
## 江東区と全都の製造業・業況の動き（実績）と来期の予測



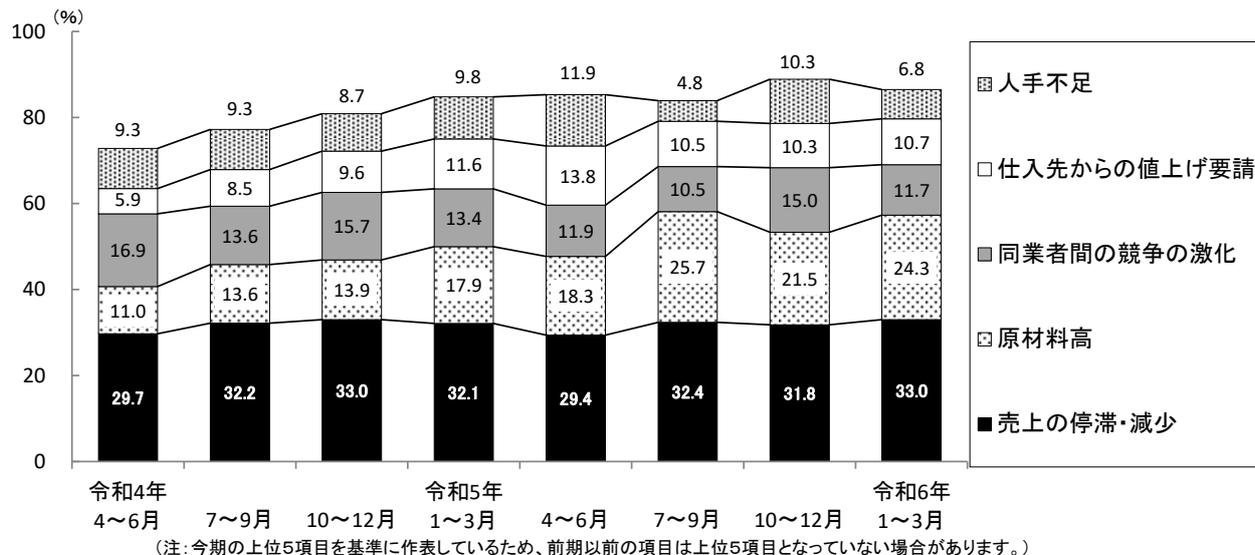
【製造業】業況と売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



【製造業】設備投資動向

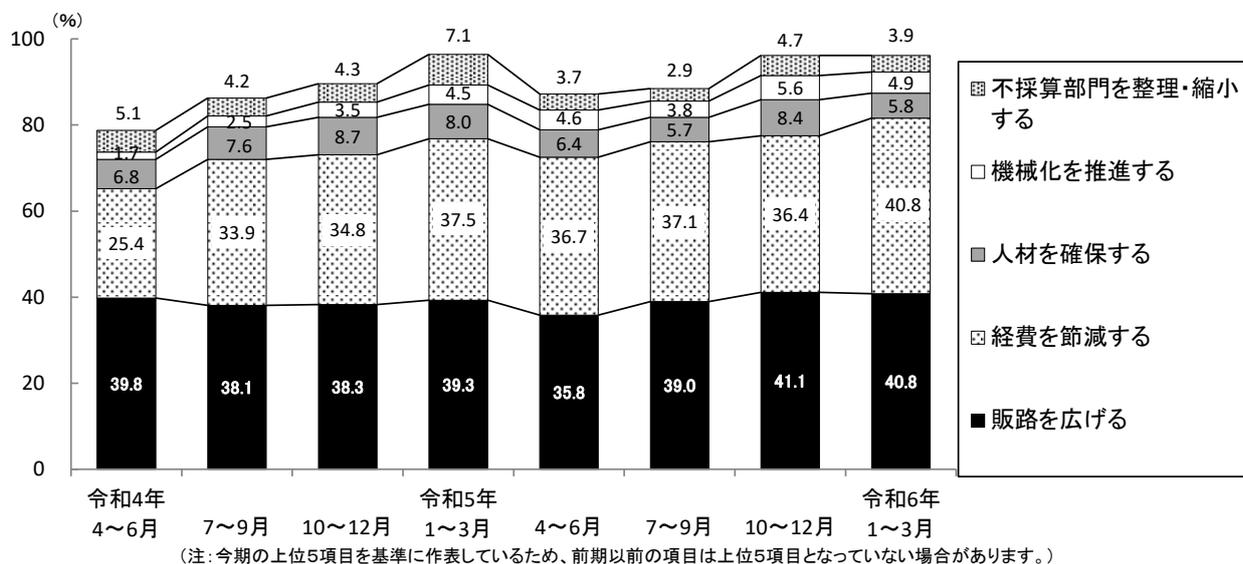


## 【製造業】 経営上の問題点（％）



令和5年4～6月期		令和5年7～9月期		令和5年10～12月期		令和6年1～3月期	
売上の停滞・減少	29.4%	売上の停滞・減少	32.4%	売上の停滞・減少	31.8%	売上の停滞・減少	33.0%
原材料高	18.3%	原材料高	25.7%	原材料高	21.5%	原材料高	24.3%
仕入先からの値上げ要請	13.8%	仕入先からの値上げ要請	10.5%	同業者間の競争の激化	15.0%	同業者間の競争の激化	11.7%
同業者間の競争の激化	11.9%	同業者間の競争の激化		仕入先からの値上げ要請	10.3%	仕入先からの値上げ要請	10.7%
人手不足		利幅の縮小	8.6%	人手不足		人手不足 工場・機械の狭小・老朽化	6.8%

## 【製造業】 重点経営施策（％）



令和5年4～6月期		令和5年7～9月期		令和5年10～12月期		令和6年1～3月期	
経費を節減する	36.7%	販路を広げる	39.0%	販路を広げる	41.1%	販路を広げる	40.8%
販路を広げる	35.8%	経費を節減する	37.1%	経費を節減する	36.4%	経費を節減する	
人材を確保する	6.4%	人材を確保する	5.7%	人材を確保する	8.4%	人材を確保する	5.8%
機械化を推進する	4.6%	機械化を推進する	3.8%	機械化を推進する	5.6%	機械化を推進する	4.9%
不採算部門を整理・縮小する	3.7%	新製品・技術を開発する		不採算部門を整理・縮小する	4.7%	不採算部門を整理・縮小する	3.9%

## 製造業 業種別動向

### ■ 繊維工業、衣服、その他繊維製品

業況（前期 $\Delta 46.8$ →今期 $\Delta 18.2$ ）は水面下ながら極端に持ち直したが、売上額（ $\Delta 6.7$ → $\Delta 4.9$ ）と収益（ $\Delta 6.7$ → $\Delta 4.9$ ）は前期並の減少・減益幅で推移した。販売価格（ $\Delta 6.2$ → $\Delta 6.2$ ）は前期並の下降水準で推移し、原材料価格（ $\Delta 6.5$ → $\Delta 8.1$ ）は前期並の良好感が続いた。原材料在庫（ $\Delta 6.2$ → $\Delta 6.2$ ）は前期同様の不足感が続き、資金繰り（ $\Delta 8.0$ → $\Delta 8.0$ ）も前期同様の窮屈感で推移した。

### ■ 木材、木製品

業況（前期 $\Delta 78.4$ →今期 $\Delta 70.0$ ）は悪化傾向が多少弱まるものの依然として深刻な状況が続いている。売上額（ $\Delta 74.6$ → $\Delta 68.0$ ）も多少の改善はあるものの低迷が続き、収益（ $\Delta 26.2$ → $\Delta 48.8$ ）は極端に減少・減益傾向を強めた。販売価格（ $\Delta 32.2$ → $\Delta 46.1$ ）はさらに下降傾向が大幅に強まったが、原材料価格（ $6.8$ → $4.0$ ）は落ち着きを見せた。原材料在庫（ $\Delta 10.5$ → $\Delta 25.2$ ）は不足感が大幅に強まった。資金繰り（ $\Delta 10.7$ → $\Delta 26.0$ ）は窮屈感が再び大幅に強まった。

### ■ 出版、印刷、製版、製本業

業況（前期 $\Delta 33.4$ →今期 $\Delta 8.4$ ）は水面下ながら極端に改善した。売上額（ $\Delta 0.5$ → $12.9$ ）は再び増勢に大きく転じ、収益（ $\Delta 10.5$ → $\Delta 3.8$ ）は減少・減益傾向がかなり和らいだ。販売価格（ $14.8$ → $9.5$ ）は上昇が若干弱まり、原材料価格（ $18.5$ → $18.9$ ）は前期並の上昇幅で推移した。原材料在庫（ $\Delta 3.2$ → $\Delta 1.9$ ）は不足から再び適正範囲となった。資金繰り（ $\Delta 12.3$ → $2.9$ ）は大幅に改善し容易な状況となった。

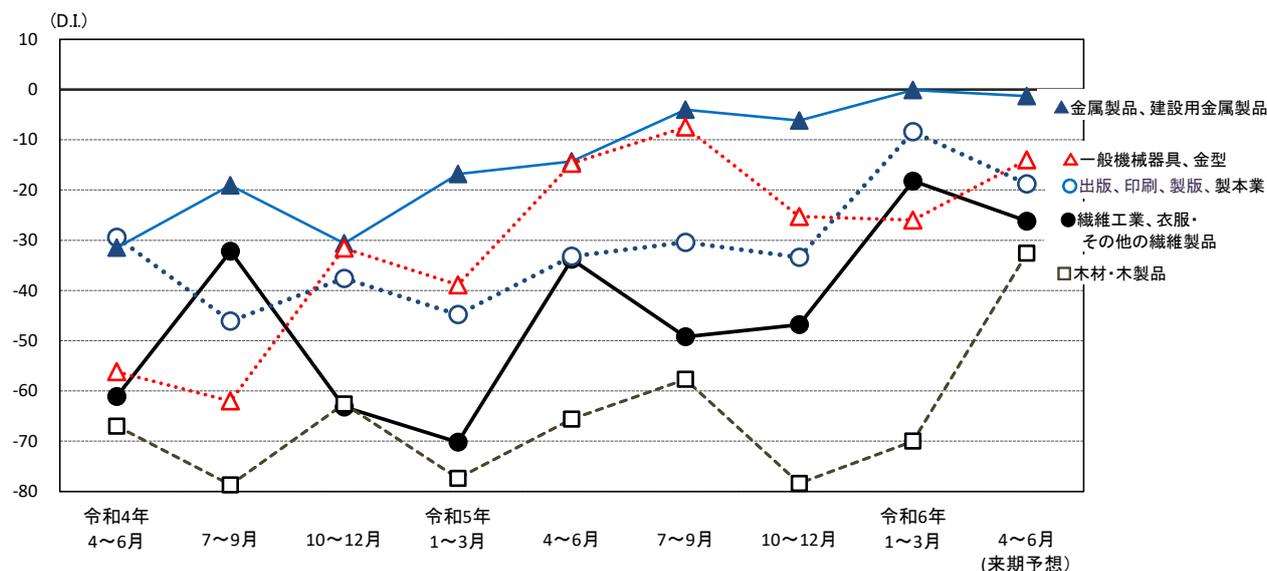
### ■ 金属製品、建設用金属製品

業況（前期 $\Delta 6.2$ →今期 $\Delta 0.1$ ）はかなり持ち直し悪化傾向に歯止めがかかった。売上額（ $2.0$ → $5.5$ ）は堅調に推移し、収益（ $\Delta 6.0$ → $11.1$ ）は大幅に改善し増加に転じた。販売価格（ $19.7$ → $10.6$ ）は上昇傾向がかなり弱まり、原材料価格（ $48.1$ → $38.5$ ）は厳しい状況ながら上昇傾向がかなり弱まった。原材料在庫（ $\Delta 3.2$ → $0.3$ ）は不足感が解消され適正水準となった。資金繰り（ $3.1$ → $4.4$ ）は前期同様の容易な状況が続いた。

### ■ 一般機械器具、金型

業況（前期 $\Delta 25.3$ →今期 $\Delta 26.0$ ）は前期同様の悪化水準が続いた。売上額（ $\Delta 10.0$ → $\Delta 19.2$ ）は減少傾向を大きく強めたが、収益（ $\Delta 34.0$ → $\Delta 16.6$ ）は減少・減益幅が大幅に縮小した。販売価格（ $8.4$ → $9.6$ ）は前期同様の上昇が続き、原材料価格（ $36.9$ → $19.1$ ）は上昇が大きく弱まり厳しさが和らいだ。原材料在庫（ $\Delta 2.3$ → $3.0$ ）は不足からわずかに過剰に転じた。資金繰り（ $\Delta 4.8$ → $\Delta 12.4$ ）は厳しさが大幅に増した。

## 業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# 卸 売 業



## 売上・収益の動向と業況判断

業況は前期△13.3から今期△6.6と悪化傾向がかなり改善した。売上額は前期△4.8から今期12.5と大きく改善しプラスに転じ、収益も前期△11.1から今期△0.2と大幅に持ち直して減少・減益傾向が一服した。

## 価格・在庫動向

販売価格は前期 29.6 から今期 33.8 と上昇がさらに強まり、仕入価格は前期 50.2 から今期 44.8 と厳しい状況ながら上昇傾向が若干弱まった。在庫は前期 5.6 から今期△2.1 と過剰から品薄に大きく転じた。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期△6.5から今期0.9と窮屈感が大幅に緩和され、借入難易度も前期△9.1から今期0.0と厳しさが多少和らいだ。今期借入をした・または予定ありの企業は29.2%で、前期から3.1ポイントの増加となった。また、設備投資を実施した・または予定ありの企業は17.4%で、前期から0.8ポイントの減少となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

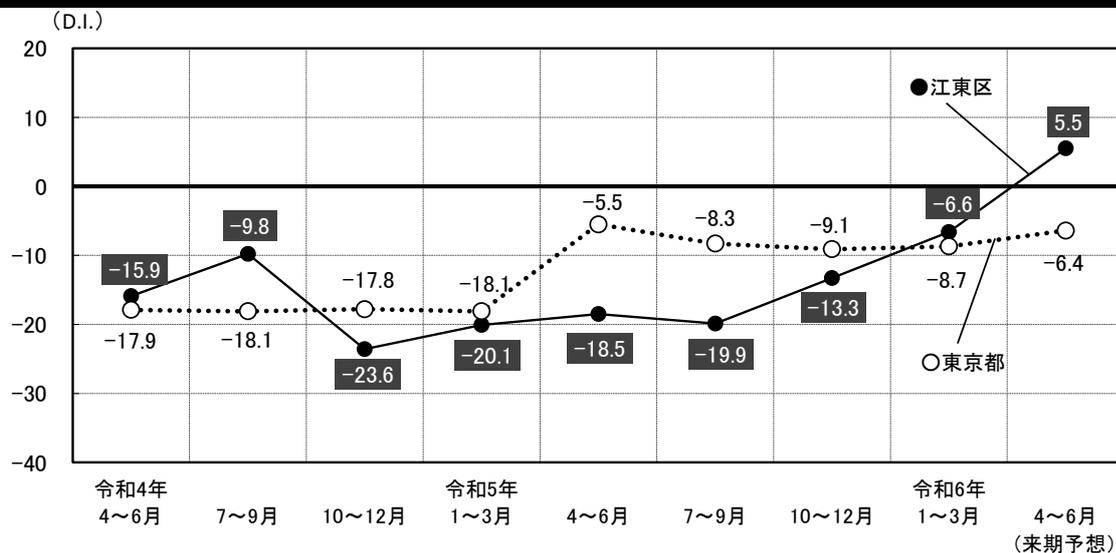
経営上の問題点は、「仕入先からの値上げ要請」が29.2%で今期は単独で最多となり、次いで「売上の停滞・減少」(25.0%)、「利幅の縮小」(20.8%)となった。

重点経営施策は、「販路を広げる」が41.7%で今期も最多となり、次いで「人材を確保する」(20.8%)、「情報力を強化する」(16.7%)となった。

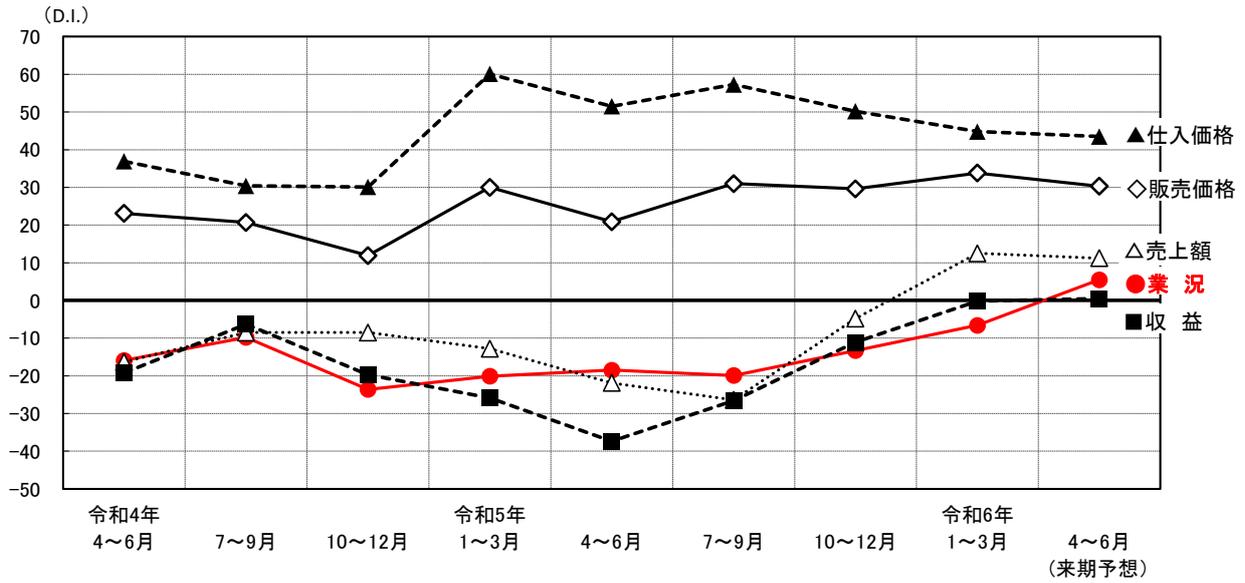
## 来期の見通し

来期の見通しは、業況(5.5予想)は大幅に持ち直しプラスに転じると予想している。売上額(11.2予想)と収益(0.5予想)は今期同様の水準で推移すると見込んでいる。販売価格(30.3予想)は増加傾向がわずかに後退し、仕入価格(43.5予想)は今期並の厳しい状況が続くと予想している。

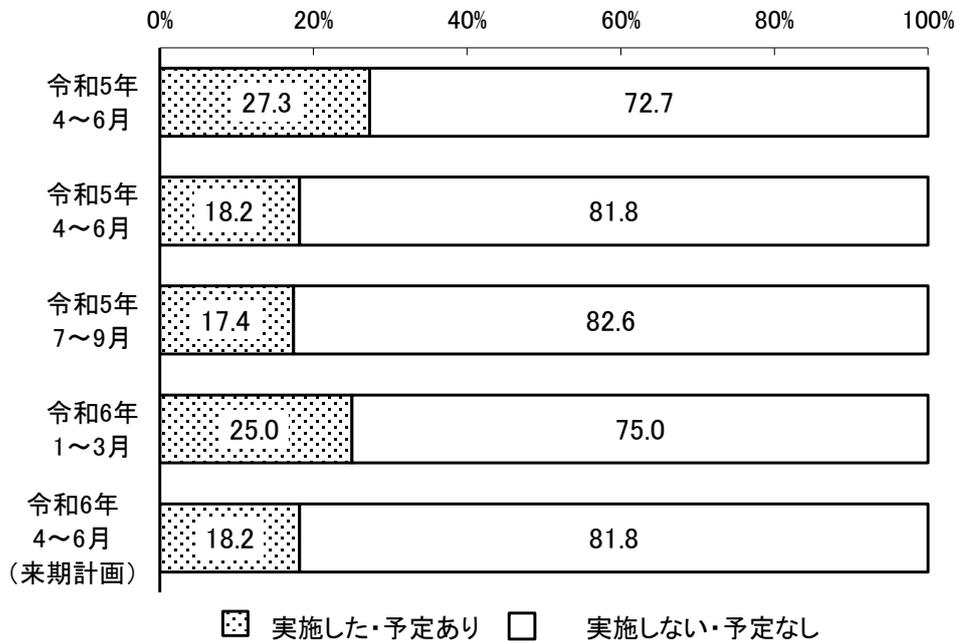
## 江東区と全部の卸売業・業況の動き(実績)と来期の予測



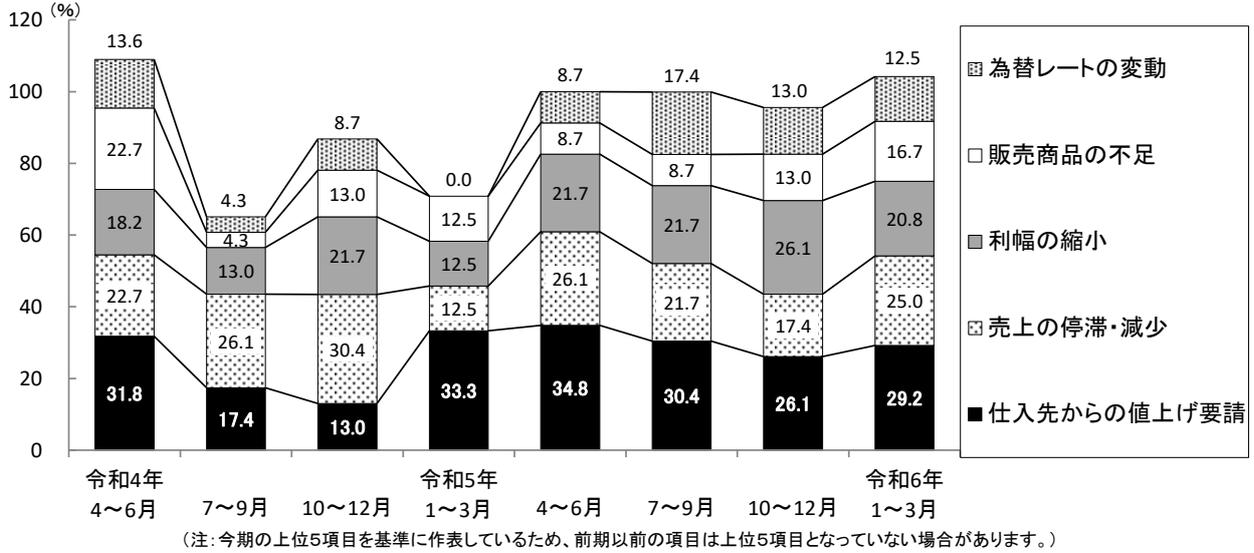
【卸売業】 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



【卸売業】 設備投資動向

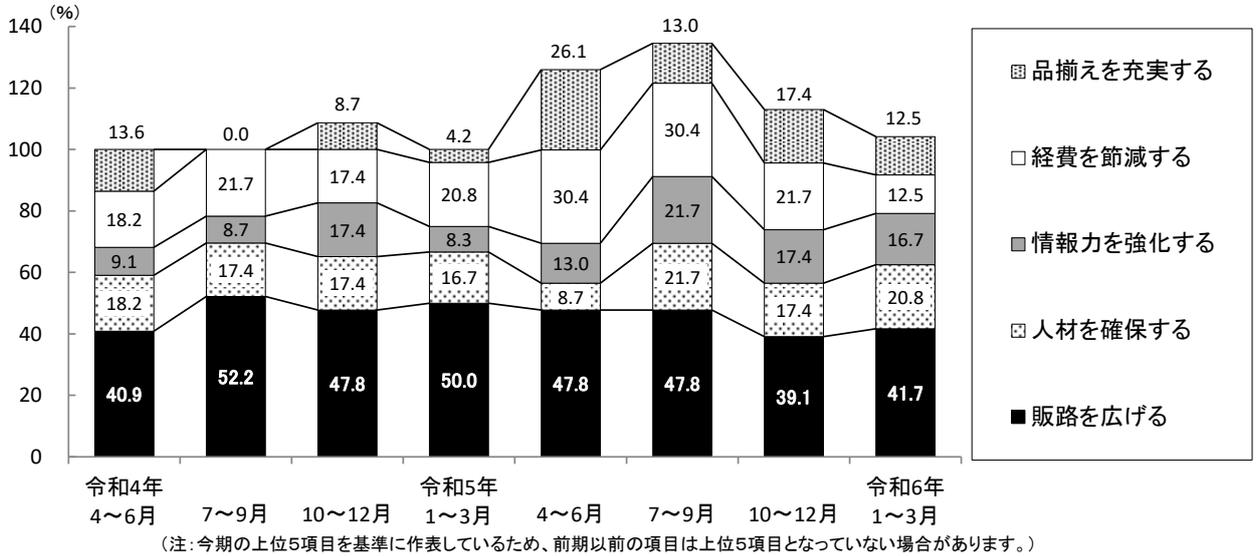


## 【卸売業】 経営上の問題点（％）



令和5年4～6月期	令和5年7～9月期	令和5年10～12月期	令和6年1～3月期
仕入先からの値上げ要請 34.8%	仕入先からの値上げ要請 30.4%	仕入先からの値上げ要請 26.1%	仕入先からの値上げ要請 29.2%
売上の停滞・減少 26.1%	売上の停滞・減少 21.7%	利幅の縮小 21.7%	売上の停滞・減少 25.0%
利幅の縮小 21.7%	利幅の縮小 17.4%	売上の停滞・減少 17.4%	利幅の縮小 20.8%
取引先の減少 17.4%	同業者間の競争の激化 17.4%	同業者間の競争の激化 為替レートの変動 販売商品の不足 人手不足 13.0%	販売商品の不足 16.7%
同業者間の競争の激化 13.0%	為替レートの変動 13.0%		為替レートの変動 人手不足 12.5%

## 【卸売業】 重点経営施策（％）



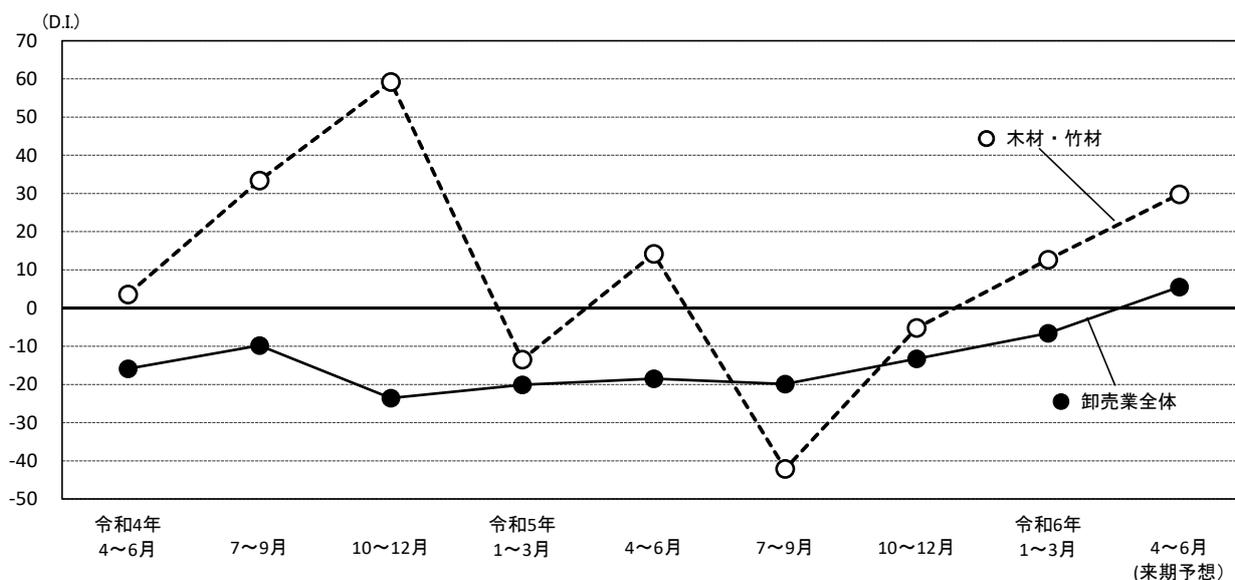
令和5年4～6月期	令和5年7～9月期	令和5年10～12月期	令和6年1～3月期
販路を広げる 47.8%	販路を広げる 47.8%	販路を広げる 39.1%	販路を広げる 41.7%
経費を節減する 30.4%	経費を節減する 30.4%	経費を節減する 21.7%	人材を確保する 20.8%
品揃えを充実する 26.1%	情報力を強化する 21.7%	情報力を強化する 21.7%	情報力を強化する 16.7%
情報力を強化する 13.0%	人材を確保する 13.0%	人材を確保する 13.0%	経費を節減する 12.5%
人材を確保する 新しい事業を始める 8.7%	品揃えを充実する 8.7%	品揃えを充実する 8.7%	品揃えを充実する 8.7%

## 卸売業 業種別動向

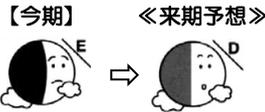
### ■ 木材、竹材

業況（前期△5.2→今期12.7）は大幅に持ち直してプラスに大きく転じた。売上額（29.9→77.9）は増加傾向を極端に強め、収益（36.0→73.1）も増加・増益傾向を非常に大きく強めた。価格については、仕入価格（121.0→53.9）が厳しさは続くものの極端に上昇を弱めたことにより、販売価格（122.2→53.5）も極端に上昇を弱めた。在庫数量（15.5→28.4）は過剰感がかなり増した。資金繰り（26.2→47.1）は大幅に厳しさを増した。

### 業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# 小 売 業



## 売上・収益の動向と業況判断

業況は前期△23.2から今期△20.6と悪化傾向が幾分弱まった。売上額は前期△13.3から今期△10.1と減少が若干改善したが、収益は前期△17.7から今期△15.9と前期並の減少・減益幅で推移した。

## 価格・在庫動向

販売価格は前期 12.6 から今期 11.9 と前期並みの上昇水準が続き、仕入価格は前期 23.9 から今期 27.8 と上昇傾向が多少強まった。在庫は前期△6.4 から今期△5.9 と前期並の品薄感で推移した。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期△7.1から今期△8.0と前期並の窮屈感が続き、借入難易度も前期△7.7から今期△5.9と前期同様の厳しさを推移した。今期借入をした・または予定ありの企業は10.3%で、前期の7.0%から3.3ポイントの増加となり、設備投資を実施した・または予定ありの企業は5.1%で、前期の2.3%から2.8ポイントの増加となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

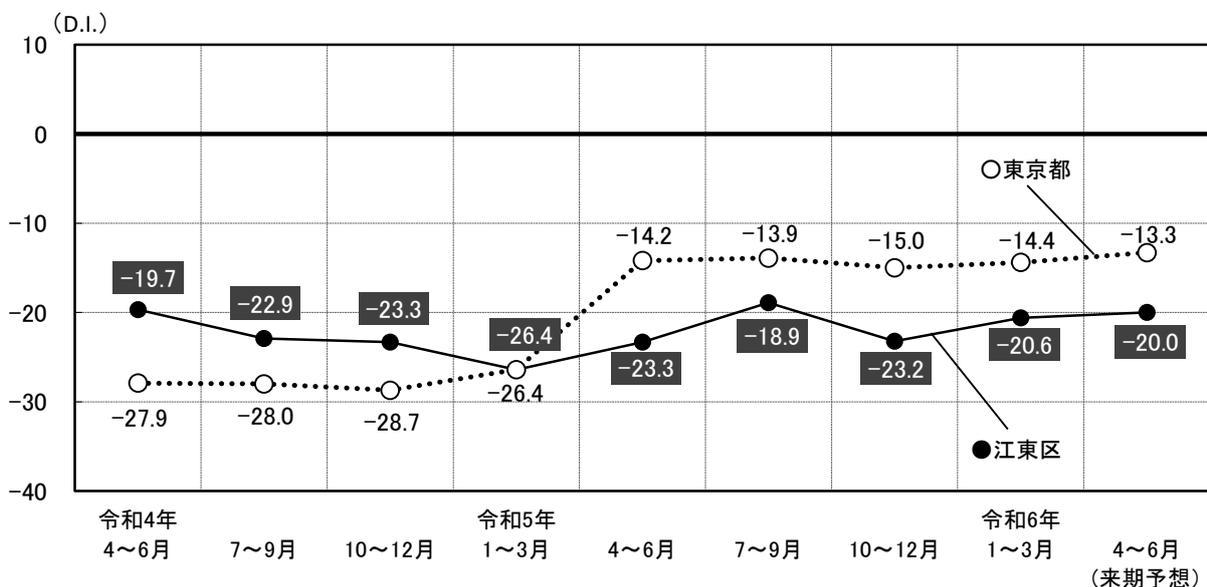
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」と「仕入先からの値上げ要請」がともに25.6%で最多となり、次いで「同業者間の競争の激化」(20.5%)となった。

重点経営施策は、「経費を節減する」が35.9%で今期も最多となり、次いで「品揃えを改善する」(20.5%)、「売れ筋商品を取り扱う」(12.8%)となった。

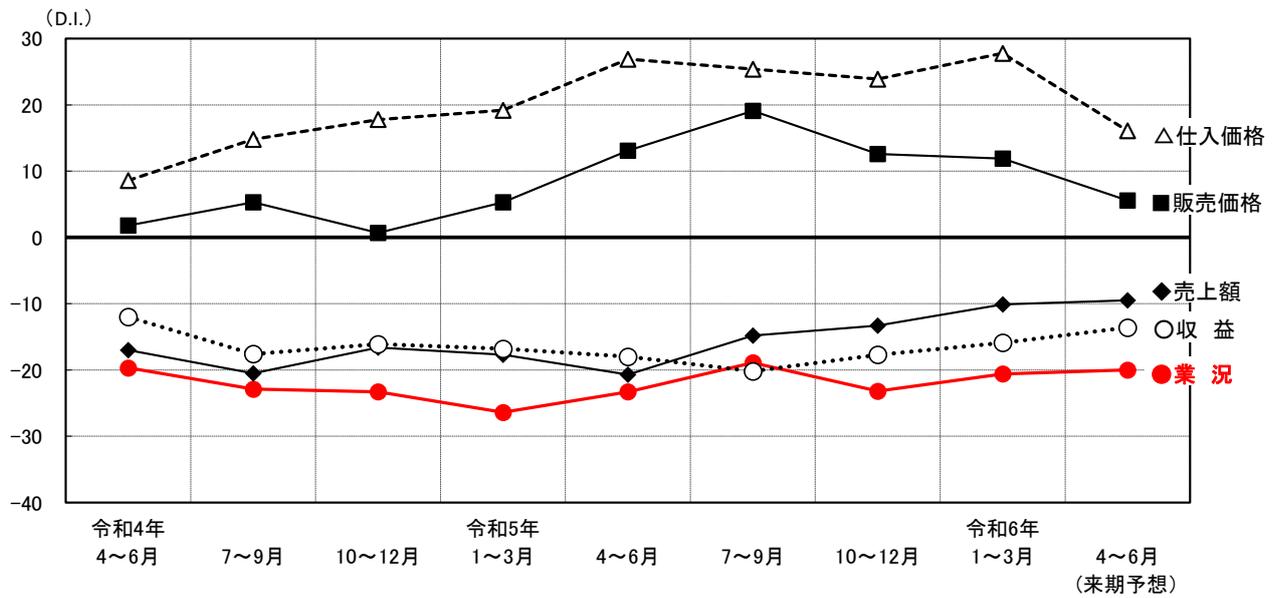
## 来期の見通し

来期の見通しは、業況(△20.0予想)は今期並の悪化幅で推移すると見込んでいる。売上額(△9.5予想)は今期同様の減少が続くが、収益(△13.6予想)は減少・減益傾向が若干弱まると予想している。販売価格(5.6予想)と仕入価格(16.1予想)はともに上昇傾向が大幅に弱まると見込まれている。

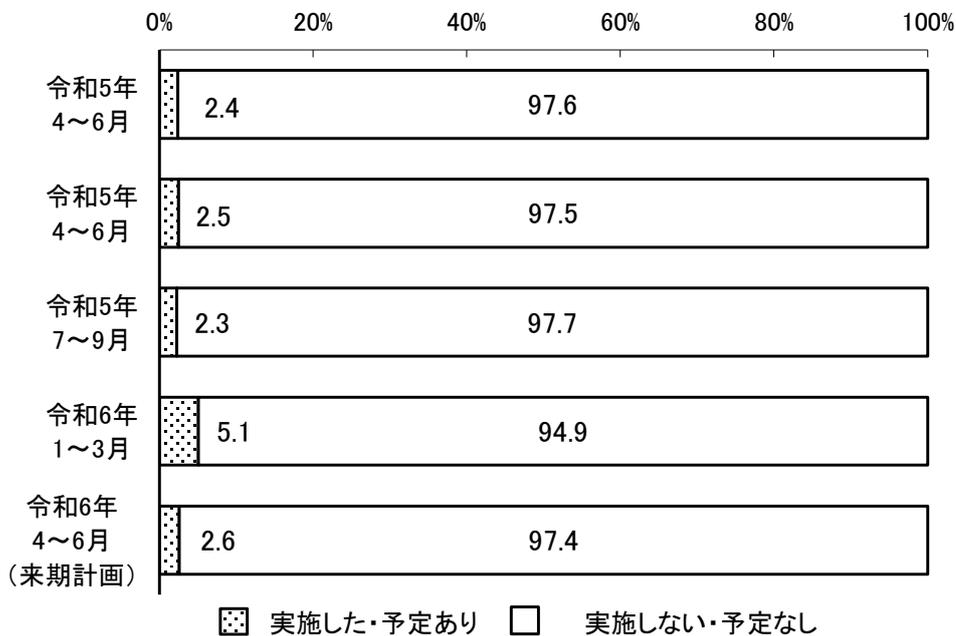
## 江東区と全都の小売業・業況の動き(実績)と来期の予測



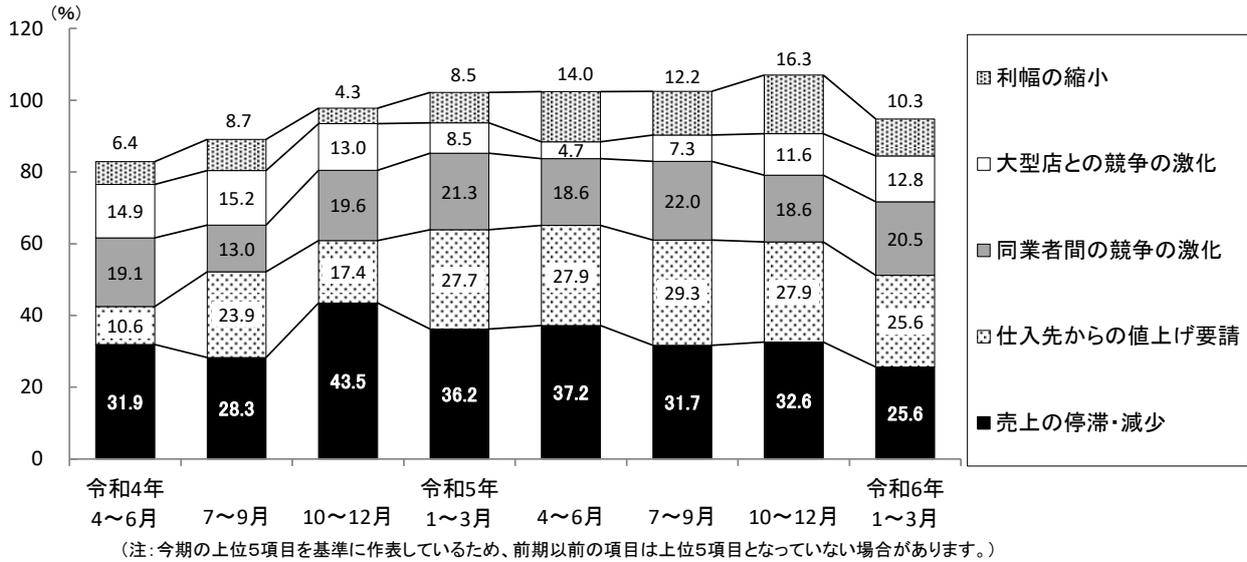
## 【小売業】 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



## 【小売業】 設備投資動向

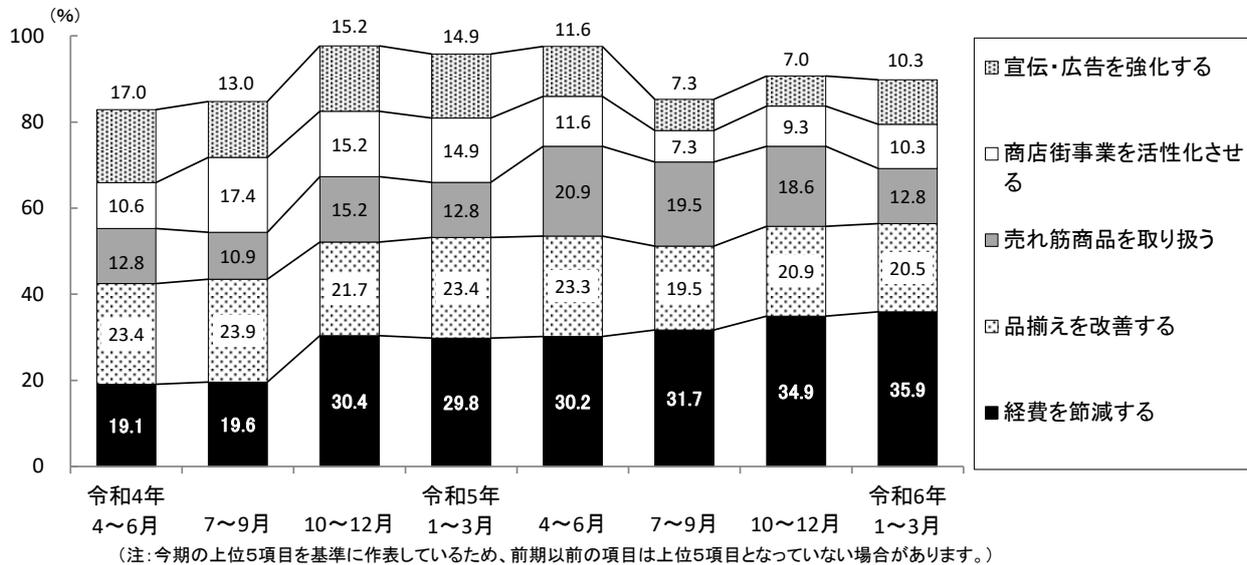


## 【小売業】 経営上の問題点（％）



令和5年4～6月期		令和5年7～9月期		令和5年10～12月期		令和6年1～3月期	
売上の停滞・減少	37.2%	売上の停滞・減少	31.7%	売上の停滞・減少	32.6%	売上の停滞・減少	25.6%
仕入先からの値上げ要請	27.9%	仕入先からの値上げ要請	29.3%	仕入先からの値上げ要請	27.9%	仕入先からの値上げ要請	25.6%
同業者間の競争の激化	18.6%	同業者間の競争の激化	22.0%	同業者間の競争の激化	18.6%	同業者間の競争の激化	20.5%
利幅の縮小	14.0%	利幅の縮小	12.2%	利幅の縮小	16.3%	大型店との競争の激化	12.8%
販売商品の不足	7.0%	大型店との競争の激化 人手不足	7.3%	大型店との競争の激化	11.6%	利幅の縮小	10.3%

## 【小売業】 重点経営施策（％）



令和5年4～6月期		令和5年7～9月期		令和5年10～12月期		令和6年1～3月期	
経費を節減する	30.2%	経費を節減する	31.7%	経費を節減する	34.9%	経費を節減する	35.9%
品揃えを改善する	23.3%	品揃えを改善する	19.5%	品揃えを改善する	20.9%	品揃えを改善する	20.5%
売れ筋商品を取り扱う	20.9%	売れ筋商品を取り扱う	18.6%	売れ筋商品を取り扱う	18.6%	売れ筋商品を取り扱う	12.8%
商店街事業を活性化させる	11.6%	商店街事業を活性化させる 宣伝・広告を強化する 人材を確保する	7.3%	商店街事業を活性化させる 宣伝・広告を強化する 人材を確保する	9.3%	商店街事業を活性化させる	10.3%
宣伝・広告を強化する	7.0%	宣伝・広告を強化する	7.0%	宣伝・広告を強化する	7.0%	宣伝・広告を強化する	10.3%

## 小売業 業種別動向

### ■ 衣服、呉服、身の回り品

業況（前期 $\Delta 42.9$ →今期 $\Delta 23.7$ ）は水面下ながら大幅に持ち直した。売上額（ $\Delta 30.1$ → $\Delta 4.9$ ）と収益（ $\Delta 30.1$ → $\Delta 4.9$ ）はともに減少・減益傾向が極端に改善した。販売価格（ $\Delta 8.5$ → $14.6$ ）は極端に持ち直して上昇に転じ、仕入価格（ $7.3$ → $12.5$ ）は上昇傾向がかなり強まった。在庫数量（ $\Delta 1.2$ → $\Delta 0.1$ ）は引き続き適正範囲を保った。資金繰り（ $\Delta 12.1$ → $\Delta 4.1$ ）は厳しさが大幅に和らいだ。

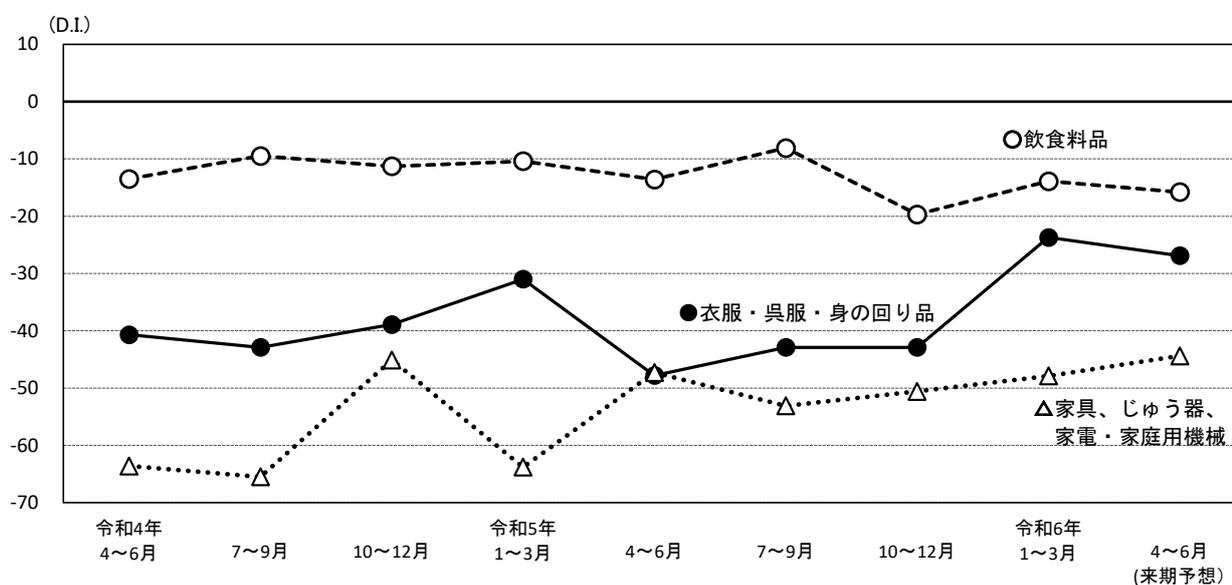
### ■ 飲食料品

業況（前期 $\Delta 19.7$ →今期 $\Delta 13.9$ ）は水面下ながらかなり持ち直し、売上額（ $\Delta 14.2$ → $\Delta 7.3$ ）と収益（ $\Delta 20.2$ → $\Delta 13.3$ ）も減少・減益傾向が大幅に改善した。販売価格（ $11.4$ → $3.7$ ）は上昇傾向が大幅に弱まり、仕入価格（ $23.9$ → $26.2$ ）は若干上昇が強まった。在庫数量（ $\Delta 10.1$ → $\Delta 7.0$ ）は品薄感が多少緩和した。資金繰り（ $\Delta 10.1$ → $\Delta 15.2$ ）は窮屈感が若干強まった。

### ■ 家具、じゅう器、家電・家庭用機械

業況（前期 $\Delta 50.6$ →今期 $\Delta 47.9$ ）は厳しい状況は続くものの悪化幅が幾分縮小した。売上額（ $\Delta 30.2$ → $\Delta 35.7$ ）と収益（ $\Delta 27.2$ → $\Delta 33.0$ ）は減少・減益傾向がさらに強まった。販売価格（ $2.9$ → $\Delta 1.9$ ）は上昇からわずかに下降に転じ、仕入価格（ $\Delta 2.0$ → $1.0$ ）は下降からわずかに上昇に転じた。在庫数量（ $\Delta 13.1$ → $\Delta 18.4$ ）は品薄感がかなり強まったが、資金繰り（ $\Delta 15.7$ → $\Delta 3.1$ ）は厳しさが大幅に和らいだ。

## 業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# サービス業



## 売上、収益の動向と業況判断

業況は前期△12.0から今期△16.3と悪化傾向を強めた。売上額は前期△16.7から今期△18.3と前期並の減少が続いたが、収益は前期△25.0から今期△22.7と減少・減益傾向が多少弱まった。

## 価格動向

料金価格は前期 13.6 から今期△3.0 と大幅に下降し厳しい状況に転じた。材料価格は前期 34.4 から今期 19.5 と上昇傾向が弱まり厳しさがかなり和らいだ。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期△11.5から今期△12.5と前期並の窮屈感が続いたが、借入難易度は前期6.7から今期10.7と容易さが若干増した。今期借入をした・または予定ありの企業は6.1%で、前期の2.9%から3.2ポイントの増加となった。設備投資を実施した・または予定ありの企業は12.1%で、前期の5.9%から6.2ポイントの増加となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

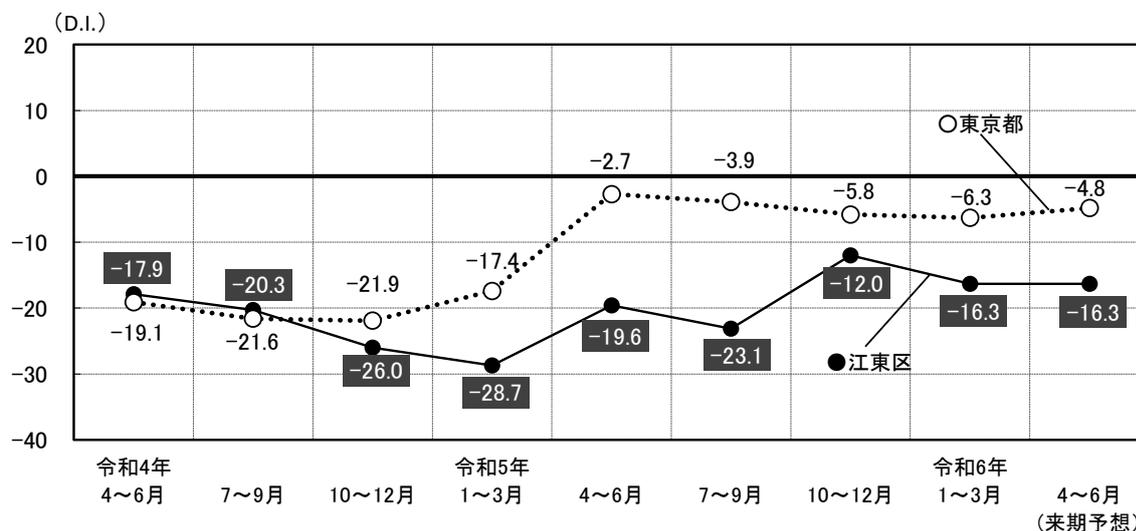
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」、「同業者間の競争の激化」、「材料価格の上昇」の3項目が24.2%で最多となり、次いで「大企業との競争の激化」(9.1%)となった。

重点経営施策は、「経費を節減する」が33.3%で今期も最多となり、次いで「販路を広げる」(21.2%)、「宣伝・広告を強化する」(12.1%)となった。

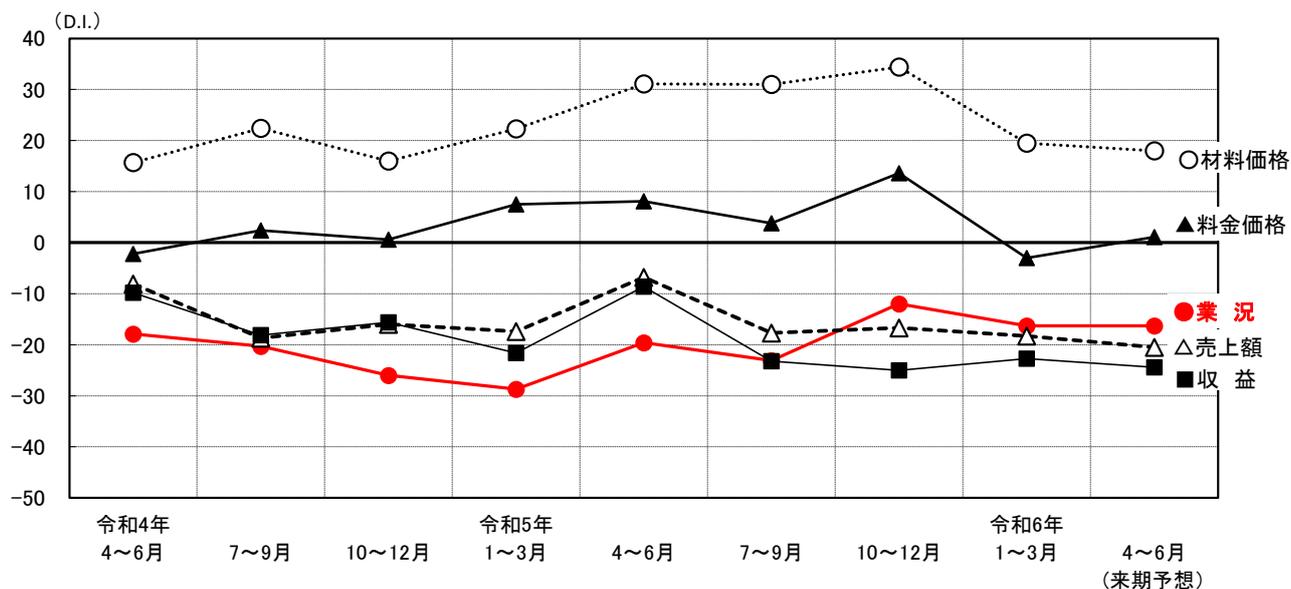
## 来期の見通し

来期の見通しについて、業況(△16.3予想)は横這いで推移すると見込まれている。売上額(△20.5予想)は減少が多少強まり、収益(△24.4予想)は今期並の減少・減益幅で推移すると予想している。また、料金価格(1.1予想)は改善しわずかにプラスに転じるが、材料価格(18.0予想)は今期並の上昇が続くと見込まれている。

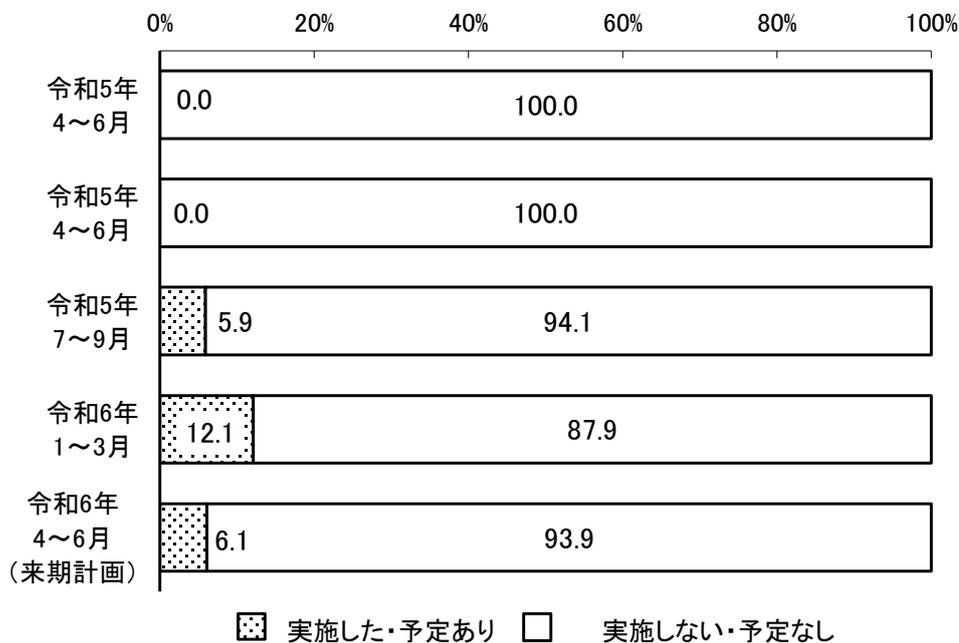
## 江東区と全都のサービス業・業況の動き(実績)と来期の予測



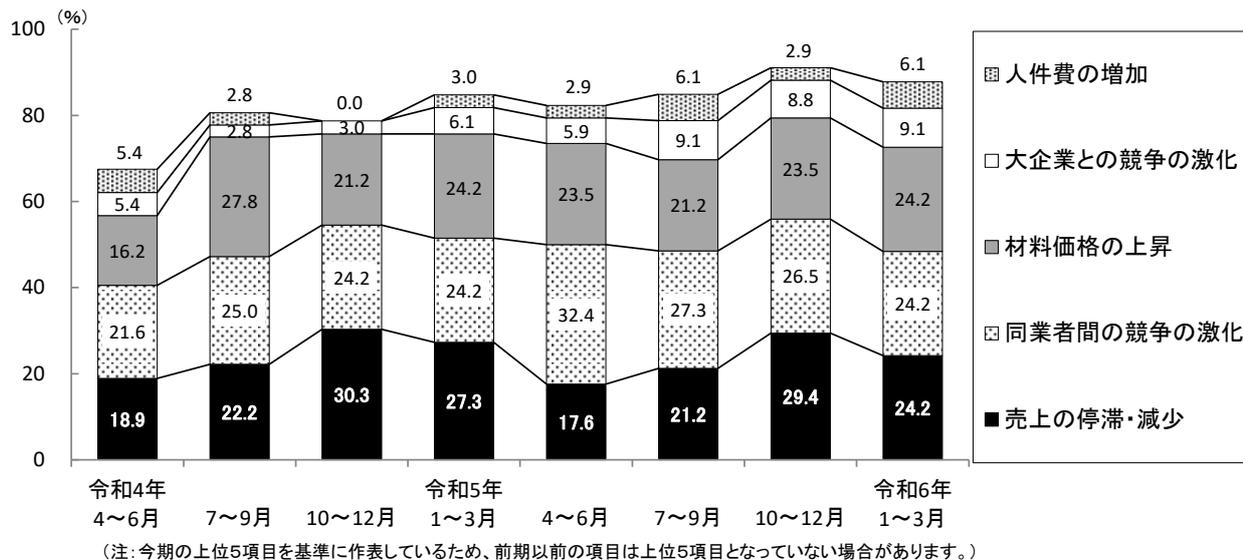
## 【サービス業】業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



## 【サービス業】設備投資動向

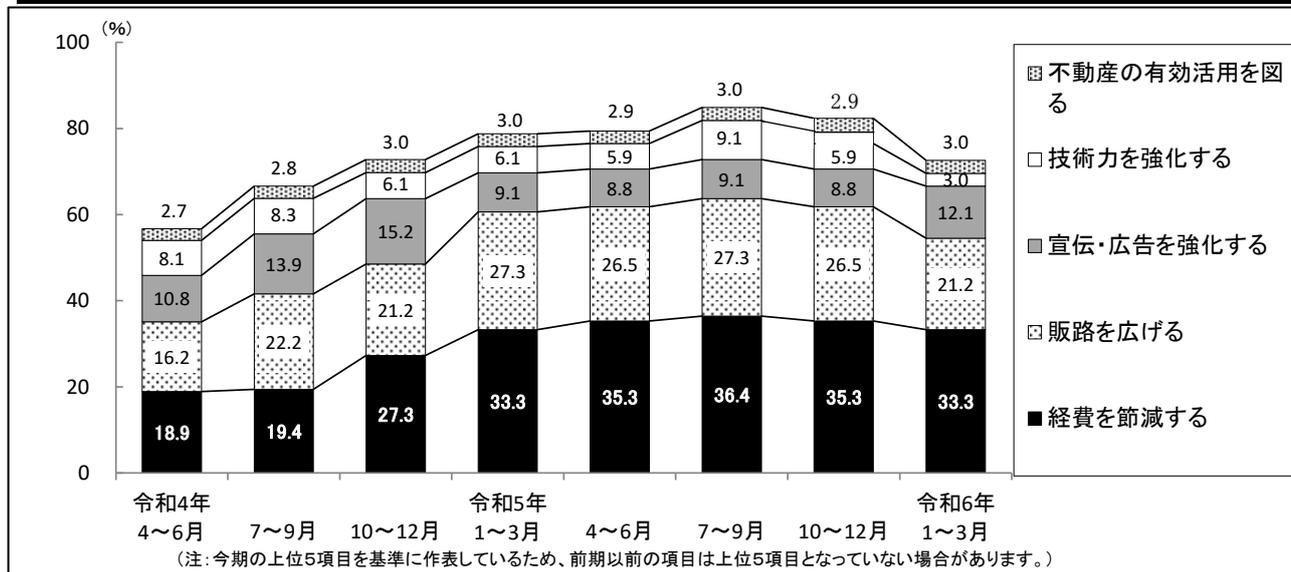


## 【サービス業】 経営上の問題点（％）



令和5年4～6月期		令和5年7～9月期		令和5年10～12月期		令和6年1～3月期	
同業者間の競争の激化	32.4%	同業者間の競争の激化	27.3%	売上の停滞・減少	29.4%	売上の停滞・減少	
材料価格の上昇	23.5%	材料価格の上昇	21.2%	同業者間の競争の激化	26.5%	同業者間の競争の激化	24.2%
売上の停滞・減少	17.6%	売上の停滞・減少		材料価格の上昇	23.5%	材料価格の上昇	
人手不足	11.8%	大企業との競争の激化	9.1%	大企業との競争の激化	8.8%	大企業との競争の激化	9.1%
取引先の減少	8.8%	利幅の縮小		人手不足		人件費の増加	6.1%

## 【サービス業】 重点経営施策（％）



令和5年4～6月期		令和5年7～9月期		令和5年10～12月期		令和6年1～3月期	
経費を節減する	35.3%	経費を節減する	36.4%	経費を節減する	35.3%	経費を節減する	33.3%
販路を広げる	26.5%	販路を広げる	27.3%	販路を広げる	26.5%	販路を広げる	21.2%
宣伝・広告を強化する	8.8%	宣伝・広告を強化する	9.1%	宣伝・広告を強化する	8.8%	宣伝・広告を強化する	12.1%
技術力を強化する	5.9%	技術力を強化する	3.0%	技術力を強化する	5.9%	技術力を強化する	3.0%
人材を確保する		人材を確保する／不動産の有効活用を図る／パート化を図る／店舗・設備を改装する／新しい事業を始める		人材を確保する／不動産の有効活用を図る／パート化を図る／店舗・設備を改装する	2.9%	人材を確保する／不動産の有効活用を図る／パート化を図る／店舗・設備を改装する／提携先を見つける	

# 日銀短観

## 【調査対象企業数】

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,794社	5,324社	9,118社	99.0%
うち大企業	917社	817社	1,734社	99.1%
中堅企業	1,062社	1,532社	2,594社	98.8%
中小企業	1,815社	2,975社	4,790社	99.1%

<回答期間> 2024年2月27日 ~ 3月29日

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート (全規模・全産業)

		2023年度		2024年度		
		上期	下期	上期	下期	下期
米ドル円 (円/ドル)	2023年12月調査	139.38	138.75	140.00	—	—
	2024年3月調査	140.36	139.04	141.68	141.42	141.60
ユーロ円 (円/1-0)	2023年12月調査	148.85	148.63	149.07	—	—
	2024年3月調査	150.24	148.90	151.57	151.86	151.99

## 【売上高】

(前年度比・%)

		2023年度		2024年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	3.4	-0.5	0.8	—
	国内	4.0	-0.7	0.7	—
	輸出	2.3	-0.1	1.0	—
	非製造業	1.5	0.3	1.0	—
	全産業	2.3	0.0	0.9	—
中堅企業	製造業	1.9	-0.3	1.9	—
	非製造業	3.7	0.7	1.8	—
	全産業	3.2	0.4	1.8	—
中小企業	製造業	2.1	-0.1	1.5	—
	非製造業	3.1	0.7	0.1	—
	全産業	2.9	0.5	0.4	—
全規模合計	製造業	2.9	-0.4	1.2	—
	非製造業	2.6	0.5	0.9	—
	全産業	2.7	0.2	1.0	—

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

## 【業況判断】

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2023年12月調査		2024年3月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	13	8	11	-2	10	-1
非製造業	32	27	34	2	27	-7
全産業	22	17	22	0	19	-3
中堅企業						
製造業	6	5	6	0	5	-1
非製造業	19	15	20	1	15	-5
全産業	14	11	14	0	11	-3
中小企業						
製造業	2	0	-1	-3	0	1
非製造業	14	7	13	-1	8	-5
全産業	9	5	7	-2	5	-2
全規模合計						
製造業	5	3	4	-1	4	0
非製造業	18	12	18	0	13	-5
全産業	13	8	12	-1	9	-3

(注) 判断項目において、「最近」は回答時点、「先行き」は3か月後を示す。「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。

## 【需給・在庫・価格判断】

(%ポイント)

		2023年12月調査		2024年3月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
中小企業	国内での製商品・サービス						
	製造業	-20	-20	-20	0	-18	2
	うち素材業種	-23	-22	-24	-1	-23	1
	加工業種	-18	-17	-17	1	-15	2
	非製造業	-10	-11	-9	1	-9	0
海外での製商品	製造業	-17	-16	-17	0	-14	3
	うち素材業種	-23	-22	-23	0	-20	3
	加工業種	-13	-13	-13	0	-11	2
	在庫水準判断 (「過大」-「不足」)						
製造業	17		18	1			
うち素材業種	16		19	3			
加工業種	18		18	0			
製商品流通 在庫水準判断 (「過大」-「不足」)							
製造業	16		16	0			
うち素材業種	18		21	3			
加工業種	15		14	-1			
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	27	28	26	-1	33	7
	うち素材業種	26	27	27	1	34	7
	加工業種	27	28	25	-2	33	8
	非製造業	24	29	26	2	32	6
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	57	54	56	-1	59	3
	うち素材業種	52	49	51	-1	55	4
	加工業種	61	58	59	-2	61	2
	非製造業	54	55	53	-1	56	3

日銀短観は、全国に企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資することを統計上の目的としており、日本銀行金融政策当局が業況等の現状・先行きに関する判断(判断項目)や、事業計画に関する実績・予測(計数項目)など、企業活動全般に関する調査項目について全国の調査対象企業に四半期ごとに実施する統計調査である。サンプル数が多く、回収率も高いことから、数多くある経済指標の中でも注目度の高い統計である。(出典：日本銀行HP)

## 特別調査「中小企業における人材戦略について」

(令和6年3月上旬調査)

注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種=213事業所)の回答を集計したものであるが、業種別の分析については回答企業数の少ない「建設業」(5社)と「不動産業」(9社)は除外して行っています。

注2. 回答割合は小数点第2位を四捨五入して表記しているため、単数回答での割合の合計が100.0%にならないことがあります。

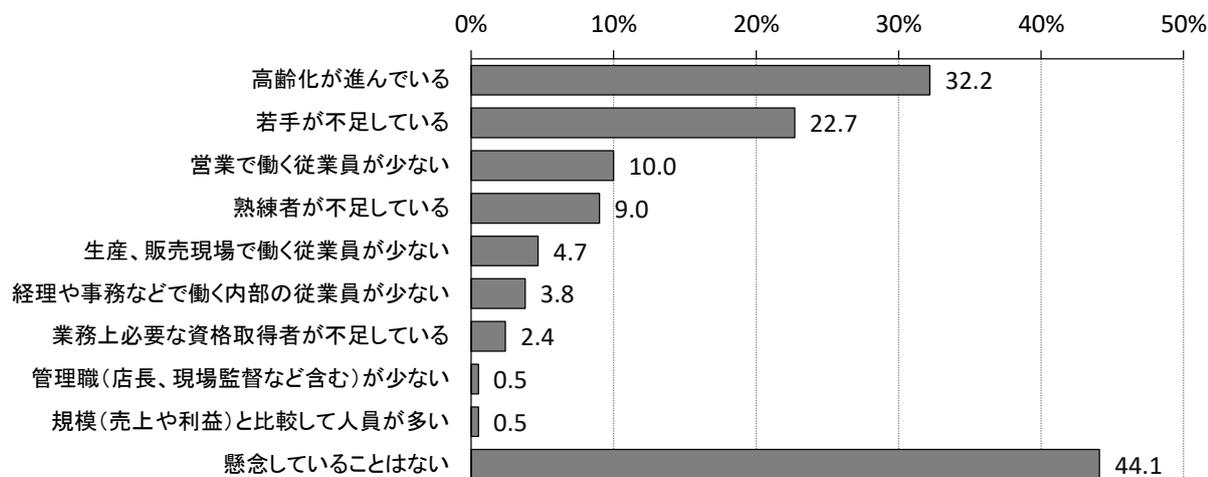
本調査結果の特徴	① 人材状況について懸念していること	「高齢化が進んでいる」32.2% 「若手が不足している」22.7% 「懸念していることはない」44.1%
	② 今後の人材確保に向けた対応策	「中途採用の強化」26.6% 「新卒採用の強化」13.5% 「特に対応策を検討していない」61.4%
	③ 職場内で実施している人材育成実施訓練(OJT)以外の取組み	「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)」13.7% 「業界団体の研修に参加」6.6% 「実施していない」79.6%
	④ 2024年中の賃金引上げ実施状況(予定を含む)	『引上げ』28.0%(うち「0%以上2%未満」18.5%) 『引上げない』72.0% ・「今後の業績見通しが不透明」24.2% ・「賃上げに見合う価格転嫁ができてない」14.7% ・「自社に従業員はいない(家族経営など)」18.0%
	⑤ 「2024年問題」の影響と対応状況	【影響】「影響はない・わからない」88.6% 『悪影響がある』10.1% 『好影響がある』0.5% 【対応】「対応を取る必要はない」63.3% 「必要性は感じているが対応していない」32.4%

### 問1. 人材状況について懸念していること(3A)

自社における現在の人材状況で懸念していることについて、最大3つまで何ったところ、「高齢化が進んでいる」が32.2%で懸念事項としては最も多かった。次いで、「若手が不足している」(22.7%)、「営業で働く従業員が少ない」(10.0%)、「熟練者が不足している」(9.0%)などであった。一方、「懸念していることはない」が44.1%で最も多かった。

業種別に見ると、「高齢化が進んでいる」は「卸売業」が37.5%で最も高く、次いで「小売業」(35.9%)となっており、「若手が不足している」は「製造業」が30.4%で最も高く、次いで「サービス業」(18.2%)であった。一方、「懸念していることはない」は「小売業」(51.3%)が最も高く、次いで「サービス業」(45.5%)であった。

表1 人材状況について懸念していること

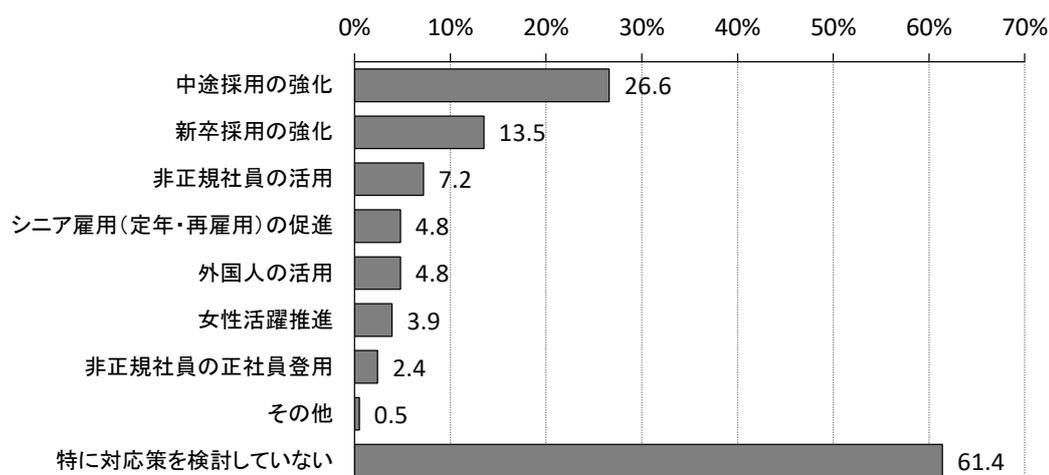


## 問2. 今後の人材確保に向けた対応策(3A)

今後の自社の人材確保に向けた対応策について、最大3つまで伺ったところ、「中途採用の強化」が26.6%で対応策としては最も多かった。次いで、「新卒採用の強化」(13.5%)、「非正規社員の活用」(7.2%)、「シニア雇用(定年・再雇用)の促進」と「外国人の活用」(各 4.8%)などであった。一方、「特に対応策を検討していない」が61.4%で最も多かった。

業種別に見ると、「中途採用の強化」は“卸売業”が33.3%で最も高く、次いで“製造業”(31.7%)となっており、「新卒採用の強化」は“製造業”が16.8%で最も高く、次いで“小売業”(10.5%)であった。また、「非正規社員の活用」は“卸売業”が25.0%で最も高い割合であった。一方、「特に対応策を検討していない」は“サービス業”(77.4%)が最も高く、次いで“小売業”(71.1%)であった。

表2 今後の人材確保に向けた対応策

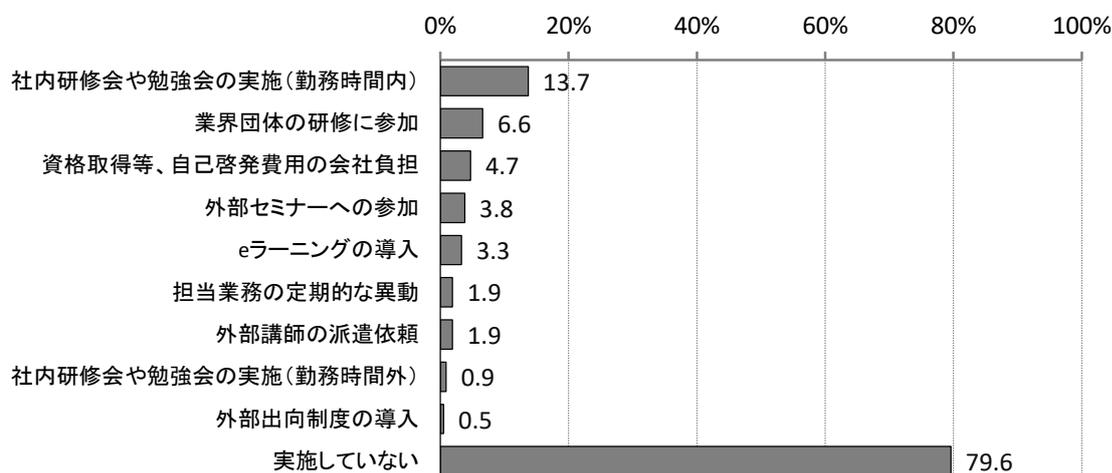


## 問3. 職場内で実施している人材育成実施訓練(OJT)以外の取組み(3A)

さらに、人材育成において、職場内での実施の訓練(OJT)以外の取組みを実施しているかについて最大3つまで伺った。その結果、「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)」が13.7%で実施している取組みとしては最も多かった。次いで、「業界団体の研修に参加」(6.6%)、「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」(4.7%)などであった。一方、「実施していない」が79.6%を占めている。

業種別に見ると、「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)」は“卸売業”が25.0%で最も高く、「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」(16.7%)、「外部セミナーへの参加」(16.7%)でも“卸売業”が最も高い割合であった。一方、「実施していない」は“小売業”、“サービス業”、“製造業”が8割台なのに対し、“卸売業”が6割台と最も低い割合であった。

表3 職場内で実施している人材育成実施訓練(OJT)以外の取組み

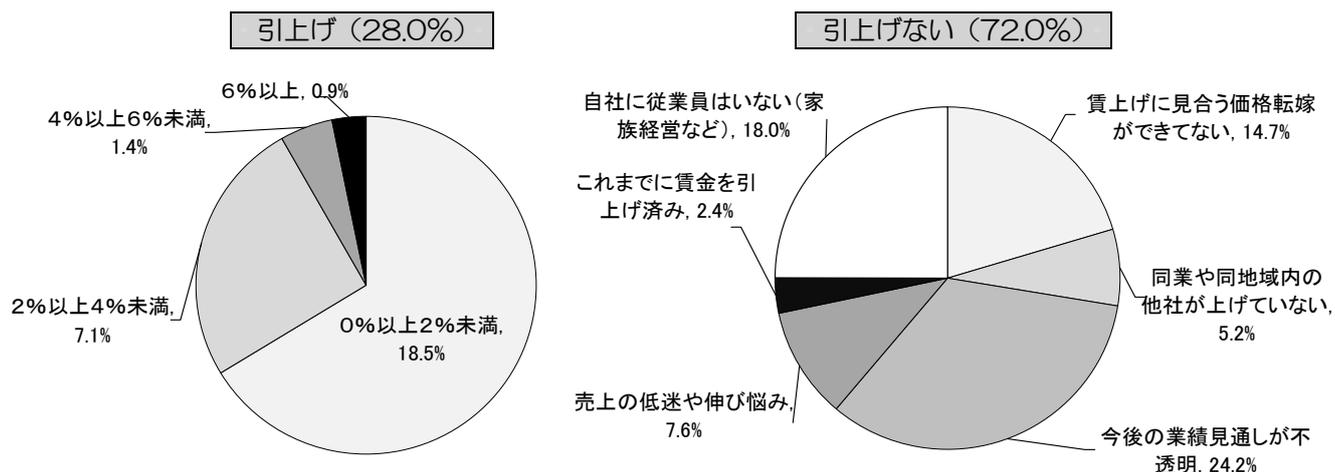


問4. 2024年中の賃金引上げ実施状況(予定を含む)

自社の人材定着などに向けて、2024年中に賃金(定期昇給、賞与や一時金を除く)の引上げ実施状況(実施予定を含む)について伺ったところ、『引上げ』が28.0%で『引上げない』の72.0%を大幅に下回った。『引上げ』の内訳としては、「0%以上2%未満」(18.5%)と「2%以上4%未満」(7.1%)を合わせた『4%未満』は『引上げ』の9割強を占めている。一方、『引上げない』の内訳としては、「今後の業績見通しが不透明」(24.2%)、「自社に従業員はいない(家族経営など)」(18.0%)、「賃上げに見合う価格転嫁ができてない」(14.7%)などとなっている。

業種別に見ると、『引上げ』は“卸売業”が50.0%で最も高い割合であった。一方『引上げない』は“サービス業”が84.8%で最も高く、“小売業”と“製造業”が7割台半ばであった。

表4 2024年中の賃金引上げ実施状況(予定を含む)



※上記2つのグラフの合計割合は、回答により100%にならないこともあります。

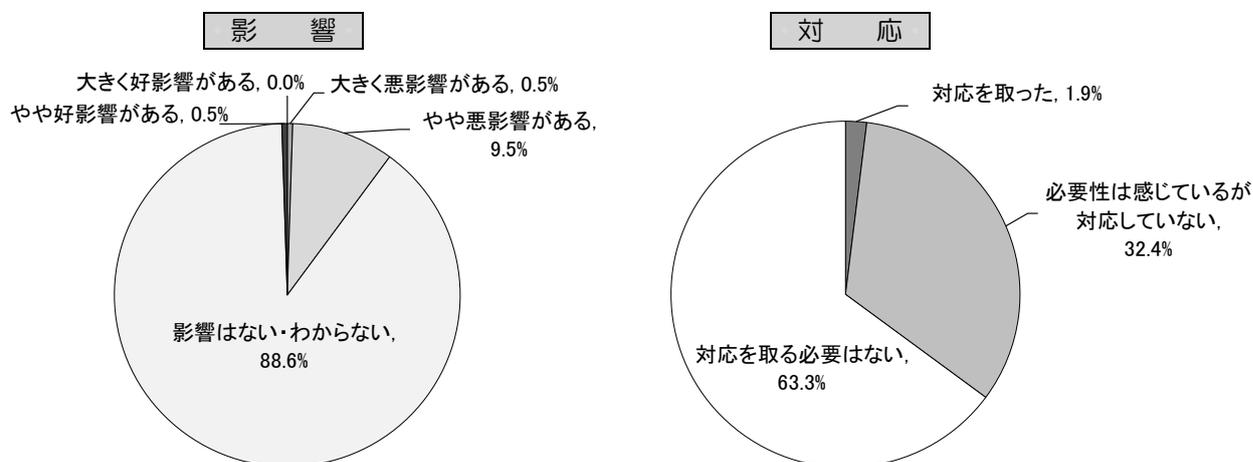
問5. 「2024年問題」の影響と対応状況

最後に「2024年問題」(建設業、自動車運転業、医師などでの残業時間の上限制限)が自社業務に対する影響と今後の対応について伺ったところ、『悪影響がある』が10.1%で、「影響はない・わからない」が88.6%と最も高く、『好影響がある』はわずかに0.5%であった。

また、対応策としては、「対応を取った」は1.9%で、「必要性は感じているが対応していない」が32.4%、「対応を取る必要はない」が63.3%であった。

業種別で見ると、『悪影響がある』は“卸売業”が21.7%で最も高い割合であった。また、対応状況として「必要性は感じているが対応していない」(47.8%)も最も高い割合であった。

表5 「2024年問題」の影響と対応状況



※上記2つのグラフのそれぞれの合計割合は、回答により100%にならないこともあります。

# 中小企業景況調査 比較表

令和6年1月～3月期

## 製造業

### 【今期の景況】

	全体		木材・木製品		窯業・土石製品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		一般機械器具、金型		金属製品、建設用金属製品		出版、印刷、製版、製本業		
	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	
業況	-15	-9	-70	-23	-	15	-18	-16	-26	-17	0	-7	-8	-20	
売上額	-4	-2	-68	-12	-	24	-5	-5	-19	-5	6	0	13	-9	
受注残	-6	-4	-47	-3	-	8	-1	-3	-31	-2	4	-2	4	-10	
収益	-3	-6	-49	-14	-	17	-5	-15	-17	-7	11	-3	-4	-12	
販売価格	8	20	-46	14	-	23	-6	9	10	26	11	20	10	14	
原材料価格	22	44	4	44	-	36	-8	31	19	53	39	43	19	39	
原材料在庫	-1	2	-25	-3	-	9	-6	6	3	4	0	5	-2	2	
資金繰り	-5	-10	-26	-15	-	1	-8	-9	-12	-11	4	-4	3	-15	
雇用	残業時間	-4	-1	-25	-3	0	7	0	5	14	-3	0	2	0	-1
	人手	-3	-14	0	-15	0	-33	0	-13	0	-7	0	-10	11	-9
同期比	売上額	1	3	-25	6	0	13	0	1	-29	-2	15	4	11	-7
	収益	2	-5	0	3	0	7	0	-9	-29	-10	15	-2	11	-15
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	33	35	100	39	-	27	50	31	14	38	29	37	50	46
	② 原材料高	24	40	50	42	-	13	50	32	-	34	10	37	28	33
	③ 同業者間の競争の激化	12	16	-	15	-	7	-	18	-	22	10	14	22	25
	④ 仕入先からの値上げ要請	11	11	-	15	-	7	-	13	14	12	10	10	17	8
	⑤ 工場・機械の狭小・老朽化	7	9	25	12	-	27	-	3	-	7	5	10	11	8
重点経営施策	① 経費を節減する	41	44	75	58	-	40	100	42	-	43	24	43	44	50
	② 販路を広げる	41	53	75	55	-	47	50	53	14	55	24	52	61	62
	③ 人材を確保する	6	18	25	24	-	27	-	17	14	19	-	15	6	13
	④ 機械化を推進する	5	7	-	6	-	7	-	1	-	7	5	10	17	7
	⑤ 不採算部門を整理・縮小する	4	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	11	4
借入の難易度	-9	-3	-75	-14	-	0	0	-9	0	-4	17	2	-12	-8	

### 【来期の景況見通し】

業況	-15	-7	-33	2	-	1	-26	-15	-14	-12	-1	-8	-19	-20	
売上額	-6	-1	-29	11	-	-9	5	-4	-10	-5	0	-3	14	-7	
受注残	-9	-2	-27	12	-	-1	9	-3	-14	-5	-7	-6	4	-7	
収益	-5	-5	-28	0	-	-9	5	-9	-27	-10	4	-7	5	-10	
販売価格	8	16	-1	29	-	8	43	15	-5	19	3	16	15	12	
原材料価格	21	37	27	46	-	25	35	33	5	45	29	34	28	33	
原材料在庫	-2	2	-1	4	-	2	3	3	-9	2	-1	6	4	2	
資金繰り	-4	-9	-5	-8	-	-8	38	-6	-11	-12	0	-4	7	-14	
雇用	残業時間	-5	-1	-25	3	0	0	0	4	0	-1	0	0	0	-1
	人手	-3	-14	0	-9	0	-33	0	-12	0	-8	0	-10	12	-9

\* 季節変動調整済D・を表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 中小企業景況調査 比較表

令和6年1月～3月期

## 卸売業

【今期の景況】

	全体		木材、竹材		
	江東区	全都	江東区	全都	
業況	-7	-9	13	13	
売上額	13	1	78	78	
収益	0	-7	73	73	
販売価格	34	32	54	54	
仕入価格	45	49	54	54	
在庫	-2	7	28	28	
資金繰り	1	-9	47	47	
雇用	残業時間	4	-2	0	0
	人手	-25	-14	0	0
同期比	売上額	25	7	67	67
	収益	4	-4	67	67
	販売価格	33	38	67	67
経営上の問題点	① 仕先からの値上げ要請	29	25	67	67
	② 売上の停滞・減少	25	37	-	-
	③ 利幅の縮小	21	23	33	33
	④ 販売商品の不足	17	7	67	67
	⑤ 為替レートの変動	13	10	-	-
重点経営施策	① 販路を広げる	42	59	33	33
	② 人材を確保する	21	17	33	33
	③ 情報力を強化する	17	17	-	-
	④ 品揃えを充実する	13	11	-	-
	⑤ 経費を節減する	13	41	-	-
借入の難易度	0	-1	0	0	

## 小売業

【今期の景況】

	全体		家具・じゅう器 家電・ 家庭用機械		飲食品		衣服、呉服、 身の回り品		
	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	
業況	-21	-14	-48	-17	-14	-14	-24	-28	
売上額	-10	-3	-36	-11	-7	-4	-5	-13	
収益	-16	-12	-33	-20	-13	-13	-5	-23	
販売価格	12	25	-2	20	4	29	15	18	
仕入価格	28	42	1	37	26	45	13	32	
在庫	-6	2	-18	-6	-7	2	0	4	
資金繰り	-8	-13	-3	-11	-15	-13	-4	-23	
雇用	残業時間	0	-1	0	-3	0	-3	0	-3
	人手	-10	-12	0	-12	-13	-13	0	-8
同期比	売上額	-5	4	0	-3	-6	1	0	-12
	収益	-5	-8	0	-13	-6	-9	0	-22
	販売価格	18	30	0	25	13	36	20	22
経営上の問題点	① 仕先からの値上げ要請	26	21	17	17	13	21	20	15
	② 売上の停滞・減少	26	33	50	34	6	33	20	42
	③ 同業者間の競争の激化	21	19	17	16	25	17	-	17
	④ 大型店との競争の激化	13	17	-	24	13	18	-	15
	⑤ 利幅の縮小	10	19	-	12	6	23	20	14
重点経営施策	① 経費を節減する	36	45	33	35	31	49	40	33
	② 品揃えを改善する	21	26	33	24	6	28	20	35
	③ 売れ筋商品を取り扱う	13	14	17	14	13	13	-	19
	④ 商店街事業を活性化させる	10	12	-	15	6	13	20	17
	⑤ 宣伝・広告を強化する	10	20	-	14	-	19	-	21
借入の難易度	-6	-6	-20	-2	-7	-7	0	-12	

【来期の景況見通し】

業況	6	-6	30	30	
売上額	11	5	75	75	
収益	1	-3	78	78	
販売価格	30	27	55	55	
仕入価格	44	42	74	74	
在庫	7	3	28	28	
資金繰り	-2	-8	44	44	
雇用	残業時間	4	-2	0	0
	人手	-25	-13	0	0

【来期の景況見通し】

業況	-20	-13	-44	-16	-16	-16	-27	-27	
売上額	-10	-3	-30	-12	-13	-5	-2	-11	
収益	-14	-10	-31	-19	-18	-11	-2	-20	
販売価格	6	21	-3	16	-4	26	12	16	
仕入価格	16	36	2	31	14	40	9	30	
在庫	-9	1	-18	-4	-9	2	0	4	
資金繰り	-11	-12	-1	-11	-19	-12	0	-19	
雇用	残業時間	3	0	0	-4	0	-2	0	-3
	人手	-8	-12	0	-12	-13	-12	0	-6

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り  
 \* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度  
 \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 中小企業景況調査 比較表

令和6年1月～3月期

## サービス業

### 【今期の景況】

		全 体	
		江東区	全都
業 況		-16	-6
売上額		-18	5
収 益		-23	-3
料金価格		-3	18
材料価格		20	38
資金繰り		-13	-8
雇用	残業時間	-6	1
	人 手	-3	-25
同期比	売上額	-18	12
	収 益	-24	2
経営上の問題点	① 材料価格の上昇	24	25
	② 同業者間の競争の激化	24	22
	③ 売上の停滞・減少	24	28
	④ 大企業との競争の激化	9	5
	⑤ 人件費の増加	6	19
重点経営施策	① 経費を節減する	33	41
	② 販路を広げる	21	38
	③ 宣伝・広告を強化する	12	15
	④ 不動産の有効活用を図る	3	1
	⑤ 人材を確保する	3	26
借入の難易度		11	-3

### 【来期の景況見通し】

業 況		-16	-5
売上額		-21	3
収 益		-24	-4
料金価格		1	16
材料価格		18	35
資金繰り		-11	-8
雇用	残業時間	-6	0
	人 手	-3	-27

\* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。  
 \* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度  
 \* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 中小企業景況調査 転記表 1

令和6年1月～3月期

## 製造業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		令和4年	令和4年	令和4年	令和5年	令和6年	対	6年											
項目		4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	前期比	4-6月期				
業況	良い	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-	-			
	普通	33.3	33.3	25.0	33.3	40.0	25.0	20.0	40.0	33.3	40.0	16.7	50.0	20.0	33.3	25.0	40.0	66.7	
	悪い	66.7	66.7	75.0	66.7	60.0	75.0	80.0	60.0	66.7	60.0	66.6	50.0	80.0	50.0	75.0	60.0	33.3	
	D・I	-66.7	-66.7	-75.0	-66.7	-60.0	-75.0	-80.0	-60.0	-66.7	-60.0	-49.9	-50.0	-80.0	-33.3	-75.0	-60.0	-33.3	
	修正値	<b>-67.0</b>	<b>-61.9</b>	<b>-78.7</b>	<b>-71.5</b>	<b>-62.6</b>	<b>-76.2</b>	<b>-77.4</b>	<b>-64.3</b>	<b>-65.6</b>	<b>-56.4</b>	<b>-57.7</b>	<b>-55.7</b>	<b>-78.4</b>	<b>-38.4</b>	<b>-70.0</b>	<b>-59.8</b>	8.4	<b>-32.6</b>
	傾向値	-70.9	-	-67.7	-	-67.9	-	-68.8	-	-70.4	-	-67.3	-	-66.7	-	-68.5	-	-	-
売上額	増加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	
	変らず	33.3	66.7	25.0	66.7	20.0	75.0	20.0	60.0	33.3	100.0	16.7	83.3	20.0	66.6	25.0	60.0	75.0	
	減少	66.7	33.3	75.0	33.3	80.0	25.0	80.0	40.0	66.7	-	66.6	16.7	80.0	16.7	75.0	40.0	25.0	
	D・I	-66.7	-33.3	-75.0	-33.3	-80.0	-25.0	-80.0	-40.0	-66.7	0.0	-49.9	-16.7	-80.0	0.0	-75.0	-40.0	-25.0	
	修正値	<b>-68.4</b>	<b>-29.9</b>	<b>-75.1</b>	<b>-38.2</b>	<b>-78.5</b>	<b>-27.8</b>	<b>-76.0</b>	<b>-42.9</b>	<b>-67.0</b>	<b>-5.2</b>	<b>-52.2</b>	<b>-17.3</b>	<b>-74.6</b>	<b>-2.5</b>	<b>-68.0</b>	<b>-35.2</b>	6.6	<b>-28.9</b>
	傾向値	-66.7	-	-67.7	-	-70.4	-	-73.8	-	-75.4	-	-72.3	-	-69.2	-	-68.5	-	-	-
受注残	増加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	
	変らず	33.3	66.7	-	66.7	20.0	75.0	40.0	60.0	50.0	100.0	33.3	83.3	40.0	66.6	50.0	80.0	75.0	
	減少	66.7	33.3	100.0	33.3	80.0	25.0	60.0	40.0	50.0	-	50.0	16.7	60.0	16.7	50.0	20.0	25.0	
	D・I	-66.7	-33.3	-100.0	-33.3	-80.0	-25.0	-60.0	-40.0	-50.0	0.0	-33.3	-16.7	-60.0	0.0	-50.0	-20.0	-25.0	
	修正値	<b>-67.8</b>	<b>-28.5</b>	<b>-100.0</b>	<b>-39.4</b>	<b>-78.2</b>	<b>-32.7</b>	<b>-56.0</b>	<b>-38.2</b>	<b>-55.6</b>	<b>-3.6</b>	<b>-34.4</b>	<b>-19.0</b>	<b>-53.4</b>	<b>-5.5</b>	<b>-46.9</b>	<b>-15.8</b>	6.5	<b>-26.5</b>
	傾向値	-66.7	-	-70.9	-	-76.7	-	-77.5	-	-74.6	-	-64.2	-	-53.3	-	-49.6	-	-	-
収益	増加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	
	変らず	33.3	66.7	25.0	66.7	20.0	75.0	60.0	60.0	66.7	100.0	50.0	83.3	60.0	66.6	50.0	80.0	75.0	
	減少	66.7	33.3	75.0	33.3	80.0	25.0	40.0	40.0	33.3	-	33.3	16.7	40.0	16.7	50.0	20.0	25.0	
	D・I	-66.7	-33.3	-75.0	-33.3	-80.0	-25.0	-40.0	-40.0	-33.3	0.0	-16.6	-16.7	-40.0	0.0	-50.0	-20.0	-25.0	
	修正値	<b>-66.4</b>	<b>-30.7</b>	<b>-73.5</b>	<b>-35.6</b>	<b>-78.9</b>	<b>-25.8</b>	<b>-43.6</b>	<b>-44.4</b>	<b>-38.4</b>	<b>-7.0</b>	<b>-21.3</b>	<b>-15.1</b>	<b>-26.2</b>	<b>0.0</b>	<b>-48.8</b>	<b>-16.4</b>	-22.6	<b>-27.9</b>
	傾向値	-66.7	-	-67.7	-	-70.4	-	-68.8	-	-61.3	-	-49.8	-	-37.5	-	-33.7	-	-	-
価格動向	販売価格	-33.3	-16.7	-25.0	-33.3	-20.0	-25.0	-40.0	-20.0	-16.7	0.0	-16.6	0.0	-40.0	16.7	-50.0	0.0	0.0	
	修正値	<b>-36.2</b>	<b>-12.0</b>	<b>-29.3</b>	<b>-33.6</b>	<b>-18.6</b>	<b>-29.2</b>	<b>-38.8</b>	<b>-24.4</b>	<b>-19.4</b>	<b>-2.1</b>	<b>-18.6</b>	<b>-0.3</b>	<b>-32.2</b>	<b>11.1</b>	<b>-46.1</b>	<b>1.4</b>	-13.9	<b>-1.2</b>
	傾向値	-29.2	-	-28.1	-	-25.4	-	-26.7	-	-27.5	-	-24.4	-	-25.8	-	-29.6	-	-	-
	原材料価格	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-40.0	20.0	0.0	0.0	16.6	16.7	0.0	33.3	0.0	20.0	25.0	
	修正値	<b>-11.6</b>	<b>5.3</b>	<b>-26.8</b>	<b>-9.5</b>	<b>0.2</b>	<b>-7.6</b>	<b>-36.0</b>	<b>14.1</b>	<b>-9.9</b>	<b>3.7</b>	<b>15.6</b>	<b>10.1</b>	<b>6.8</b>	<b>27.4</b>	<b>4.0</b>	<b>17.9</b>	-2.8	<b>26.5</b>
	傾向値	-20.8	-	-15.6	-	-10.4	-	-11.3	-	-16.3	-	-11.1	-	-5.9	-	-0.9	-	-	-
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	0.0	-16.7	0.0	-16.7	0.0	-25.0	0.0	-20.0	0.0	0.0	-16.7	0.0	-20.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	
	修正値	<b>-10.0</b>	<b>-11.1</b>	<b>-1.2</b>	<b>-24.8</b>	<b>-0.3</b>	<b>-24.9</b>	<b>-3.7</b>	<b>-22.8</b>	<b>-7.0</b>	<b>0.0</b>	<b>-11.6</b>	<b>-6.8</b>	<b>-10.5</b>	<b>2.8</b>	<b>-25.2</b>	<b>1.5</b>	-14.7	<b>-1.1</b>
	資金繰り	-33.3	-33.3	-50.0	-33.3	-40.0	-50.0	-40.0	-40.0	-33.3	-20.0	-16.7	0.0	-20.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	
修正値	<b>-42.8</b>	<b>-32.7</b>	<b>-52.0</b>	<b>-39.1</b>	<b>-32.5</b>	<b>-47.8</b>	<b>-38.6</b>	<b>-42.9</b>	<b>-38.9</b>	<b>-23.2</b>	<b>-18.3</b>	<b>-9.9</b>	<b>-10.7</b>	<b>4.4</b>	<b>-26.0</b>	<b>-2.0</b>	-15.3	<b>-4.9</b>	
前年同期比	売上額	-33.3	-	0.0	-	-20.0	-	-20.0	-	-16.7	-	0.0	-	-20.0	-	-25.0	-	-	
	収益	-33.3	-	0.0	-	-20.0	-	0.0	-	0.0	-	16.7	-	0.0	-	0.0	-	-	
雇用	残業時間	0.0	0.0	-25.0	0.0	-20.0	-25.0	-20.0	-20.0	-16.7	-20.0	-16.7	-16.7	-20.0	-16.7	-25.0	-20.0	-25.0	
	人手	0.0	0.0	0.0	0.0	-20.0	0.0	0.0	-20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
借入金	借入をした/借入の予定あり(%)	16.7	0.0	25.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	借入しない/借入の予定なし(%)	83.3	100.0	75.0	100.0	80.0	100.0	80.0	100.0	83.3	100.0	83.3	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	借入難易度	<b>-50.0</b>	<b>-</b>	<b>-75.0</b>	<b>-</b>	<b>-60.0</b>	<b>-</b>	<b>-60.0</b>	<b>-</b>	<b>-50.0</b>	<b>-</b>	<b>-50.0</b>	<b>-</b>	<b>-60.0</b>	<b>-</b>	<b>-75.0</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
有効回答事業所数	6	4	5	5	6	6	5	4											

# 中小企業景況調査 転記表 2

令和6年1月～3月期

## 製造業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		令和4年		令和4年		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		対 前期比	6年 4-6 月期	
	令和4年 4月～6月期	令和4年 7月～9月期	令和4年 7月～9月期	令和4年 10月～12月期	令和4年 10月～12月期	令和4年 1月～3月期	令和5年 4月～6月期	令和5年 7月～9月期	令和5年 10月～12月期	令和5年 10月～12月期	令和5年 1月～3月期	令和5年 4月～6月期	令和5年 7月～9月期	令和5年 10月～12月期	令和5年 1月～3月期	令和6年 1月～3月期	令和6年 1月～3月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実施した・予定あり	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	事業用土地・建物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	機械・設備の新・増設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	機械・設備の更改	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事務機器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	50.0	-	100.0	-	100.0	-	100.0	-	83.3	-	83.3	-	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-
	人手不足	-	-	-	20.0	-	20.0	-	16.7	-	16.7	-	20.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-
	大手企業との競争の激化	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	同業者間の競争の激化	16.7	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	親企業による選別の強化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	輸入製品との競争の激化	16.7	25.0	20.0	20.0	20.0	16.7	16.7	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合理化の不足	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利幅の縮小	33.3	50.0	40.0	40.0	40.0	33.3	16.7	20.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	原材料高	-	25.0	20.0	20.0	40.0	33.3	66.7	60.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	販売納入先からの値下げ要請	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	仕入先からの値上げ要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	人件費の増加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	人件費以外の経費増加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	工場・機械の狭小・老朽化	-	-	-	-	20.0	16.7	16.7	20.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生産能力の不足	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	下請の確保難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	代金回収の悪化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地価の高騰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	天候の不順	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地場産業の衰退	16.7	25.0	20.0	20.0	20.0	16.7	16.7	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大手企業・工場の縮小・撤退	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替レートの変動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
問題なし	33.3	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
重点経営施策(%)	販路を広げる	66.7	75.0	80.0	80.0	80.0	66.7	66.7	80.0	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	経費を節減する	66.7	75.0	80.0	80.0	80.0	66.7	66.7	80.0	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	情報力を強化する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	新製品・技術を開発する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	不採算部門を整理・縮小する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	提携先を見つける	16.7	25.0	20.0	20.0	20.0	16.7	16.7	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械化を推進する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	人材を確保する	-	-	20.0	20.0	20.0	16.7	16.7	20.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	パート化を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	教育訓練を強化する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	労働条件を改善する	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	工場・機械を増設・移転する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	不動産の有効活用を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	特になし	33.3	25.0	20.0	20.0	20.0	33.3	16.7	20.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
有効回答事業所数	6	4	5	5	6	6	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

卸売業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		令和4年		令和4年		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		対 前期比	6年 4-6 月期
			4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良	18.2	4.3	17.4	9.1	17.4	13.0	25.0	17.4	21.7	20.8	17.4	18.2	21.7	13.0	25.0	30.4		25.0	
	普	45.4	69.6	52.2	59.1	43.5	60.9	33.3	47.8	34.8	41.7	39.1	45.4	47.9	56.6	50.0	43.5		58.3	
	悪	36.4	26.1	30.4	31.8	39.1	26.1	41.7	34.8	43.5	37.5	43.5	36.4	30.4	30.4	25.0	26.1		16.7	
	D・I	-18.2	-21.8	-13.0	-22.7	-21.7	-13.1	-16.7	-17.4	-21.8	-16.7	-26.1	-18.2	-8.7	-17.4	0.0	4.3		8.3	
	修正値	-15.9	-16.5	-9.8	-22.8	-23.6	-14.0	-20.1	-20.0	-18.5	-13.0	-19.9	-15.8	-13.3	-13.9	-6.6	-0.5	6.7	5.5	
	傾向値	-33.0		-27.6		-22.4		-19.0		-17.9		-19.9		-20.0		-16.2				
売 上 額	増	18.2	8.3	21.7	18.2	26.1	13.0	25.0	17.4	21.7	16.7	17.4	26.1	30.4	13.0	33.3	30.4		33.3	
	変	50.0	50.0	47.9	63.6	39.1	60.9	33.3	56.5	34.8	58.3	34.8	47.8	39.2	52.2	50.0	39.2		45.9	
	減	31.8	41.7	30.4	18.2	34.8	26.1	41.7	26.1	43.5	25.0	47.8	26.1	30.4	34.8	16.7	30.4		20.8	
	D・I	-13.6	-33.4	-8.7	0.0	-8.7	-13.1	-16.7	-8.7	-21.8	-8.3	-30.4	0.0	0.0	-21.8	16.6	0.0		12.5	
	修正値	-16.3	-30.0	-8.5	-2.8	-8.5	-11.9	-12.8	-9.4	-21.9	-3.8	-26.4	-4.3	-4.8	-16.9	12.5	1.7	17.3	11.2	
	傾向値	-27.8		-23.2		-17.9		-13.5		-13.0		-16.7		-18.3		-13.1				
収 益	増	18.2	4.2	21.7	13.6	13.0	17.4	20.8	13.0	13.0	12.5	13.0	17.4	26.1	13.0	25.0	30.4		25.0	
	変	45.4	54.1	47.9	59.1	56.6	52.2	29.2	60.9	34.8	50.0	43.5	43.5	43.5	52.2	50.0	43.5		45.8	
	減	36.4	41.7	30.4	27.3	30.4	30.4	50.0	26.1	52.2	37.5	43.5	39.1	30.4	34.8	25.0	26.1		29.2	
	D・I	-18.2	-37.5	-8.7	-13.7	-17.4	-13.0	-29.2	-13.1	-39.2	-25.0	-30.5	-21.7	-4.3	-21.8	0.0	4.3		-4.2	
	修正値	-19.2	-33.1	-6.3	-15.6	-19.7	-15.0	-25.9	-13.5	-37.4	-17.9	-26.6	-22.5	-11.1	-21.6	-0.2	1.8	10.9	0.5	
	傾向値	-26.1		-22.1		-19.0		-18.4		-21.0		-26.4		-27.4		-22.2				
価 格 動 向	販	27.3	4.2	21.7	22.7	13.0	13.0	33.3	8.7	26.1	25.0	34.8	26.1	30.5	8.7	37.5	21.8		37.5	
	修正値	23.1	0.5	20.7	19.6	11.9	12.9	30.0	9.8	20.9	20.9	31.0	21.5	29.6	10.2	33.8	21.2	4.2	30.3	
	傾向値	1.4		9.0		14.4		20.2		23.7		25.2		29.0		31.7				
	仕	45.4	25.0	34.8	31.8	30.4	30.4	62.5	17.4	60.9	50.0	65.2	56.5	47.8	43.5	45.8	34.8		47.8	
	修正値	36.9	23.0	30.4	27.2	30.1	24.1	60.1	22.3	51.5	44.9	57.3	48.1	50.2	37.3	44.8	42.2	-5.4	43.5	
	傾向値	17.0		24.1		29.6		38.1		45.2		51.0		56.9		57.0				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在	-13.7	-16.7	-8.7	-13.6	-13.1	-13.0	-4.1	-13.1	-13.1	-12.5	-4.4	-4.4	4.4	-8.7	-4.2	4.4		4.2	
	修正値	-15.1	-13.0	-10.2	-13.9	-10.6	-14.2	-3.3	-13.8	-13.4	-9.9	-6.0	-5.3	5.6	-9.2	-2.1	2.9	-7.7	7.2	
	資	-13.7	-29.2	-8.7	-18.2	-13.1	-13.0	-16.7	-13.1	-26.1	-12.5	-13.0	-26.1	0.0	-17.4	0.0	0.0		0.0	
修正値	-13.7	-29.0	-8.1	-14.8	-15.5	-13.1	-14.4	-17.4	-23.7	-12.0	-12.6	-20.5	-6.5	-16.2	0.9	-6.4	7.4	-2.2		
前 年 同 期 比	売	0.0		0.0		-8.7		-8.4		-8.7		-8.7		4.4		25.0				
	収	-4.6		-8.7		-17.4		-25.0		-13.1		-26.1		-4.3		4.2				
	販	22.8		17.4		26.1		41.7		43.5		26.1		39.2		33.3				
雇 用	残	-4.6	-25.0	0.0	-4.5	-4.4	-4.3	-12.5	-4.4	4.4	0.0	0.0	4.3	8.7	-4.3	4.2	0.0		4.2	
	人	0.0	-8.3	-4.3	0.0	0.0	0.0	-4.1	-4.4	-17.4	-4.1	-21.7	-17.4	-26.1	-21.7	-25.0	-21.7		-25.0	
借 入 金	借	18.2	4.3	13.0	4.5	8.7	4.5	16.7	9.1	21.7	13.0	26.1	17.4	26.1	17.4	29.2	13.0		16.7	
	借	81.8	95.7	87.0	95.5	91.3	95.5	83.3	90.9	78.3	87.0	73.9	82.6	73.9	82.6	70.8	87.0		83.3	
	借	-9.5		-4.7		-9.1		-8.7		-18.2		-13.1		-9.1		0.0				
有 効 回 答 事 業 所 数	22		23		23		24		23		23		23		24					

# 中小企業景況調査 転記表 2

令和6年1月～3月期

## 卸売業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	令和4年		令和4年		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		対 前期比	6年 4-6 月期
		4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	0.0	4.5	4.5	4.4	4.5	0.0	4.4	4.3	-4.1	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	<b>実施した・予定あり</b>	<b>9.1</b>	<b>4.3</b>	<b>9.5</b>	<b>9.1</b>	<b>17.4</b>	<b>9.5</b>	<b>20.8</b>	<b>17.4</b>	<b>19.0</b>	<b>20.8</b>	<b>27.3</b>	<b>14.3</b>	<b>18.2</b>	<b>22.7</b>	<b>17.4</b>	<b>18.2</b>		<b>25.0</b>
	事業用土地・建物	50.0	-	-	-	25.0	-	20.0	25.0	25.0	40.0	16.7	33.3	25.0	20.0	25.0	25.0		33.3
	事務機器	-	-	50.0	50.0	25.0	50.0	60.0	25.0	25.0	40.0	16.7	33.3	25.0	20.0	25.0	25.0		16.7
	車両	-	-	-	-	25.0	-	60.0	25.0	75.0	60.0	66.7	66.7	75.0	60.0	50.0	75.0		33.3
		-	100.0	50.0	-	25.0	50.0	20.0	50.0	75.0	40.0	50.0	100.0	75.0	80.0	75.0	75.0		33.3
		100.0	100.0	50.0	100.0	25.0	100.0	20.0	-	50.0	40.0	16.7	33.3	25.0	20.0	50.0	25.0		50.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
実施しない・予定なし	90.9	95.7	90.5	90.9	82.6	90.5	79.2	82.6	81.0	79.2	72.7	85.7	81.8	77.3	82.6	81.8		75.0	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	22.7		26.1		30.4		12.5		26.1		21.7		17.4		25.0			
	人手不足	9.1		13.0		13.0		4.2		8.7		8.7		13.0		12.5			
	同業者間の競争の激化	13.6		26.1		17.4		12.5		13.0		17.4		13.0		8.3			
	輸入品との競争の激化	4.5		4.3		4.3		4.2		4.3		4.3		4.3		-			
	流通経路の変化による競争の激化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	合理化の不足	-		-		4.3		4.2		-		4.3		-		-			
	小口注文・多頻度配送の増加	4.5		4.3		8.7		4.2		4.3		-		4.3		-			
	利幅の縮小	18.2		13.0		21.7		12.5		21.7		21.7		26.1		20.8			
	取扱商品の陳腐化	-		-		-		4.2		-		-		4.3		4.2			
	販売商品の不足	22.7		4.3		13.0		12.5		8.7		8.7		13.0		16.7			
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		4.2		-		-		-		-			
	仕入先からの値上げ要請	31.8		17.4		13.0		33.3		34.8		30.4		26.1		29.2			
	人件費の増加	-		8.7		13.0		20.8		8.7		4.3		-		4.2			
	人件費以外の経費の増加	-		-		-		4.2		4.3		4.3		-		-			
	取引先の減少	9.1		17.4		17.4		12.5		17.4		13.0		4.3		8.3			
	店舗の狭小・老朽化	4.5		4.3		8.7		4.2		8.7		4.3		-		-			
	代金回収の悪化	-		-		-		4.2		-		-		-		-			
	地価の高騰	-		-		-		-		8.7		8.7		8.7		8.3			
	駐車場の確保難	-		-		-		-		4.3		4.3		4.3		4.2			
	天候の不順	-		-		-		4.2		-		4.3		-		-			
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-			
為替レートの変動	13.6		4.3		8.7		-		8.7		17.4		13.0		12.5				
大手企業・工場の縮小・撤退	4.5		4.3		4.3		-		-		-		-		-				
その他	-		-		-		-		-		-		-		-				
問題なし	31.8		26.1		21.7		25.0		17.4		21.7		30.4		29.2				
重点経営施策(%)	販路を広げる	40.9		52.2		47.8		50.0		47.8		47.8		39.1		41.7			
	経費を節減する	18.2		21.7		17.4		20.8		30.4		30.4		21.7		12.5			
	品揃えを充実する	13.6		-		8.7		4.2		26.1		13.0		17.4		12.5			
	情報力を強化する	9.1		8.7		17.4		8.3		13.0		21.7		17.4		16.7			
	新しい事業を始める	-		4.3		4.3		4.2		8.7		8.7		-		4.2			
	提携先を見つける	4.5		-		-		-		-		-		-		-			
	機械化を推進する	-		4.3		4.3		8.3		-		-		-		4.2			
	人材を確保する	18.2		17.4		17.4		16.7		8.7		21.7		17.4		20.8			
	パート化を図る	4.5		4.3		8.7		8.3		4.3		4.3		4.3		4.2			
	教育訓練を強化する	9.1		-		-		-		-		-		4.3		4.2			
	流通経路の見直しをする	-		-		4.3		-		-		-		4.3		8.3			
	取引先を支援する	4.5		4.3		4.3		4.2		4.3		4.3		4.3		4.2			
	輸入品の取扱いを増やす	4.5		-		-		4.2		4.3		4.3		4.3		-			
	労働条件を改善する	-		-		4.3		4.2		4.3		4.3		-		-			
	不動産の有効活用を図る	-		4.3		-		4.2		4.3		4.3		-		-			
	その他	-		-		-		-		4.3		-		-		-			
特になし	36.4		30.4		26.1		33.3		21.7		26.1		34.8		33.3				
有効回答事業所数	22		23		23		24		23		23		23		24				

# 中小企業景況調査 転記表 1

令和6年1月～3月期

## 小売業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

調査期		令和4年 4月～6月期		令和4年 7月～9月期		令和4年 10月～12月期		令和5年 1月～3月期		令和5年 4月～6月期		令和5年 7月～9月期		令和5年 10月～12月期		令和6年 1月～3月期		対 前期比	6年 4-6 月期
業 況	良 い	4.3	2.1	2.2	4.3	-	2.2	-	-	4.7	-	4.9	-	-	5.0	-	-		2.6
	普 通	72.3	74.5	71.7	74.4	76.1	71.1	72.3	78.3	67.4	74.5	70.7	76.7	76.7	75.0	79.5	78.6		76.3
	悪 い	23.4	23.4	26.1	21.3	23.9	26.7	27.7	21.7	27.9	25.5	24.4	23.3	23.3	20.0	20.5	21.4		21.1
	D・I	-19.1	-21.3	-23.9	-17.0	-23.9	-24.5	-27.7	-21.7	-23.2	-25.5	-19.5	-23.3	-23.3	-15.0	-20.5	-21.4		-18.5
	<b>修正値</b>	<b>-19.7</b>	<b>-22.5</b>	<b>-22.9</b>	<b>-19.0</b>	<b>-23.3</b>	<b>-21.7</b>	<b>-26.4</b>	<b>-20.9</b>	<b>-23.3</b>	<b>-25.1</b>	<b>-18.9</b>	<b>-24.1</b>	<b>-23.2</b>	<b>-12.5</b>	<b>-20.6</b>	<b>-21.2</b>	2.6	<b>-20.0</b>
	傾 向 値	-34.0		-29.9		-26.5		-24.4		-24.2		-24.1		-23.5		-22.5			
売 上 額	増 加	4.3	2.1	2.2	4.3	-	-	-	-	2.3	2.1	2.4	4.7	4.7	2.4	5.1	4.7		5.1
	変 ら ず	76.6	79.1	73.9	78.7	82.6	73.9	83.0	87.0	74.4	85.1	78.1	76.7	76.7	80.5	82.1	79.0		84.6
	減 少	19.1	18.8	23.9	17.0	17.4	26.1	17.0	13.0	23.3	12.8	19.5	18.6	18.6	17.1	12.8	16.3		10.3
	D・I	-14.8	-16.7	-21.7	-12.7	-17.4	-26.1	-17.0	-13.0	-21.0	-10.7	-17.1	-13.9	-13.9	-14.7	-7.7	-11.6		-5.2
	<b>修正値</b>	<b>-17.0</b>	<b>-17.7</b>	<b>-20.5</b>	<b>-13.3</b>	<b>-16.6</b>	<b>-25.3</b>	<b>-17.7</b>	<b>-12.7</b>	<b>-20.7</b>	<b>-12.5</b>	<b>-14.8</b>	<b>-13.0</b>	<b>-13.3</b>	<b>-10.8</b>	<b>-10.1</b>	<b>-11.3</b>	3.2	<b>-9.5</b>
	傾 向 値	-31.9		-27.0		-22.2		-19.0		-18.5		-18.7		-17.7		-16.1			
収 益	増 加	4.3	2.1	2.2	4.3	-	-	-	-	2.3	2.1	2.4	2.3	2.3	-	2.6	2.3		2.6
	変 ら ず	80.8	79.1	78.2	82.9	82.6	78.3	83.0	82.6	76.8	80.9	73.2	76.8	76.8	80.5	79.5	79.1		84.6
	減 少	14.9	18.8	19.6	12.8	17.4	21.7	17.0	17.4	20.9	17.0	24.4	20.9	20.9	19.5	17.9	18.6		12.8
	D・I	-10.6	-16.7	-17.4	-8.5	-17.4	-21.7	-17.0	-17.4	-18.6	-14.9	-22.0	-18.6	-18.6	-19.5	-15.3	-16.3		-10.2
	<b>修正値</b>	<b>-12.0</b>	<b>-17.9</b>	<b>-17.6</b>	<b>-8.9</b>	<b>-16.1</b>	<b>-21.9</b>	<b>-16.8</b>	<b>-16.3</b>	<b>-18.0</b>	<b>-15.6</b>	<b>-20.2</b>	<b>-17.0</b>	<b>-17.7</b>	<b>-16.6</b>	<b>-15.9</b>	<b>-15.6</b>	1.8	<b>-13.6</b>
	傾 向 値	-30.1		-24.9		-19.9		-16.6		-16.6		-18.2		-18.9		-18.8			
価 格 動 向	販 売 価 格	2.1	0.0	4.4	-2.1	0.0	-2.2	8.5	2.2	13.9	10.6	19.5	9.3	11.6	7.3	15.4	7.0		10.3
	〃 <b>修正値</b>	<b>1.8</b>	<b>-2.4</b>	<b>5.3</b>	<b>-0.8</b>	<b>0.7</b>	<b>-0.9</b>	<b>5.3</b>	<b>2.0</b>	<b>13.1</b>	<b>6.4</b>	<b>19.1</b>	<b>11.0</b>	<b>12.6</b>	<b>9.0</b>	<b>11.9</b>	<b>7.4</b>	-0.7	<b>5.6</b>
	〃 傾 向 値	-2.6		0.0		1.9		3.0		5.2		8.6		11.9		14.2			
	仕 入 価 格	8.5	2.1	13.1	8.5	19.6	17.4	23.4	21.8	27.9	21.3	24.4	20.9	25.5	12.2	33.4	18.6		20.5
	〃 <b>修正値</b>	<b>8.6</b>	<b>-1.5</b>	<b>14.8</b>	<b>9.8</b>	<b>17.8</b>	<b>18.3</b>	<b>19.2</b>	<b>19.3</b>	<b>26.9</b>	<b>17.5</b>	<b>25.4</b>	<b>23.1</b>	<b>23.9</b>	<b>13.7</b>	<b>27.8</b>	<b>16.5</b>	3.9	<b>16.1</b>
	〃 傾 向 値	1.8		5.3		8.9		13.5		18.6		22.4		24.6		26.6			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-4.2	-6.2	2.2	-2.1	-2.2	2.2	0.0	-4.3	0.0	0.0	-7.3	0.0	-7.0	-7.3	-5.1	-7.0		-7.7
	〃 <b>修正値</b>	<b>-4.3</b>	<b>-7.4</b>	<b>3.7</b>	<b>-1.7</b>	<b>-2.5</b>	<b>2.8</b>	<b>-0.6</b>	<b>-3.3</b>	<b>0.3</b>	<b>-1.3</b>	<b>-4.7</b>	<b>1.1</b>	<b>-6.4</b>	<b>-5.5</b>	<b>-5.9</b>	<b>-5.2</b>	0.5	<b>-8.7</b>
	資 金 繰 り	-8.5	-12.5	-8.7	-8.5	-10.9	-13.0	-8.5	-10.9	-4.7	-8.5	-9.8	-4.7	-7.1	-9.8	-5.1	-7.1		-7.7
	〃 <b>修正値</b>	<b>-7.0</b>	<b>-15.0</b>	<b>-6.1</b>	<b>-6.4</b>	<b>-12.0</b>	<b>-10.6</b>	<b>-10.8</b>	<b>-10.7</b>	<b>-4.0</b>	<b>-11.9</b>	<b>-5.5</b>	<b>-3.3</b>	<b>-7.1</b>	<b>-6.0</b>	<b>-8.0</b>	<b>-6.0</b>	-0.9	<b>-11.3</b>
前 年 同 期 比	売 上 額	-17.0		-19.6		-15.2		-12.7		-13.9		-14.6		-4.6		-5.2			
	収 益	-12.7		-13.1		-15.2		-17.0		-16.2		-12.2		-11.6		-5.2			
	販 売 価 格	2.1		0.0		0.0		2.1		18.6		21.9		16.6		17.9			
雇 用	残 業 時 間	2.1	2.1	-4.3	2.1	-2.2	-6.5	-2.1	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	-2.3	0.0	0.0	0.0		2.6
	人 手	-2.1	-2.1	-2.2	-2.1	-4.3	-2.2	-4.3	-4.3	-7.0	-4.3	-4.9	-7.0	-7.0	-4.9	-10.3	-7.0		-7.7
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	2.1	0.0	6.5	2.1	2.2	0.0	2.2	4.3	7.0	0.0	4.9	2.3	7.0	2.4	10.3	2.3		5.1
	借入しない/借入の予定なし(%)	97.9	100.0	93.5	97.9	97.8	100.0	97.8	95.7	93.0	100.0	95.1	97.7	93.0	97.6	89.7	97.7		94.9
	借 入 難 易 度	-17.4		-11.9		-14.0		-19.0		-10.2		-8.3		-7.7		-5.9			
有効回答事業所数		47		46		46		47		43		41		43		39			

# 中小企業景況調査 転記表 2

令和6年1月～3月期

## 小売業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和4年		令和4年		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		対 前期比	6年 4-6 月期
	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期	1月～3月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-2.2	-4.2	-2.1	-2.2	-4.3	-2.1	-2.2	-4.3	-2.3	-2.2	-4.9	-2.3	-4.7	-2.4	-5.1	-2.3			-5.1
	<b>実施した・予定あり</b>	<b>0.0</b>	<b>2.1</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>	<b>4.4</b>	<b>4.4</b>	<b>6.5</b>	<b>6.7</b>	<b>2.4</b>	<b>4.3</b>	<b>2.5</b>	<b>2.4</b>	<b>2.3</b>	<b>2.5</b>	<b>5.1</b>	<b>2.3</b>			<b>2.6</b>
	事業用土地・建物	-	-	-	-	50.0	-	33.3	33.3	-	50.0	-	-	-	-	-	-			-
	事務機器	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	50.0	-	-	-	-	-	-			-
	車両	-	100.0	-	-	-	50.0	66.7	33.3	-	50.0	-	-	-	-	-	-			-
	その他	-	-	-	-	50.0	50.0	33.3	33.3	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
	実施しない・予定なし	100.0	97.9	100.0	100.0	95.6	95.6	93.5	93.3	97.6	95.7	97.5	97.6	97.7	97.5	94.9	97.7			97.4
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	31.9		28.3		43.5		36.2		37.2		31.7		32.6		25.6				
	人手不足	-		2.2		-		2.1		2.3		7.3		7.0		5.1				
	同業者間の競争の激化	19.1		13.0		19.6		21.3		18.6		22.0		18.6		20.5				
	大型店との競争の激化	14.9		15.2		13.0		8.5		4.7		7.3		11.6		12.8				
	輸入製品との競争の激化	-		-		-		2.1		-		-		2.3		-				
	利幅の縮小	6.4		8.7		4.3		8.5		14.0		12.2		16.3		10.3				
	取扱商品の陳腐化	-		2.2		-		2.1		-		-		-		-				
	販売商品の不足	6.4		4.3		6.5		4.3		7.0		2.4		2.3		2.6				
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		-		-		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	10.6		23.9		17.4		27.7		27.9		29.3		27.9		25.6				
	人件費の増加	2.1		2.2		2.2		4.3		2.3		2.4		2.3		5.1				
	人件費以外の経費の増加	2.1		-		2.2		2.1		2.3		2.4		2.3		2.6				
	取引先の減少	8.5		10.9		6.5		4.3		2.3		2.4		2.3		-				
	商圏人口の減少	8.5		4.3		4.3		4.3		2.3		-		-		-				
	商店街の集客力の低下	12.8		13.0		10.9		6.4		2.3		4.9		4.7		7.7				
	店舗の狭小・老朽化	2.1		2.2		-		-		-		-		-		-				
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-				
	天候の不順	4.3		4.3		4.3		-		-		-		-		-				
地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-					
その他	-		-		-		-		2.3		-		-		-					
問題なし	31.9		34.8		34.8		34.0		37.2		41.5		39.5		38.5					
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	23.4		23.9		21.7		23.4		23.3		19.5		20.9		20.5				
	経費を削減する	19.1		19.6		30.4		29.8		30.2		31.7		34.9		35.9				
	宣伝・広報を強化する	17.0		13.0		15.2		14.9		11.6		7.3		7.0		10.3				
	新しい事業を始める	2.1		4.3		2.2		2.1		2.3		2.4		2.3		2.6				
	店舗・設備を改装する	4.3		4.3		6.5		6.4		2.3		2.4		2.3		-				
	仕入先を開拓・選別する	2.1		4.3		2.2		4.3		2.3		4.9		4.7		7.7				
	営業時間を延長する	2.1		2.2		4.3		4.3		2.3		2.4		2.3		-				
	売れ筋商品を取り扱う	12.8		10.9		15.2		12.8		20.9		19.5		18.6		12.8				
	商店街事業を活性化させる	10.6		17.4		15.2		14.9		11.6		7.3		9.3		10.3				
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	人材を確保する	4.3		2.2		2.2		2.1		4.7		7.3		7.0		2.6				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	2.1		2.2		2.2		2.1		2.3		2.4		-		-				
	輸入品の取扱いを増やす	-		2.2		-		2.1		2.3		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		2.1		-		-		-		-				
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-				
	特になし	44.7		43.5		37.0		34.0		39.5		46.3		46.5		46.2				
有効回答事業所数	47		46		46		47		43		41		43		39					

# 中小企業景況調査 転記表 1

令和6年1月～3月期

## サービス業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	令和4年		令和4年		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		対 前期比	6年 4-6 月期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	5.4	5.3	5.6	2.7	-	5.7	-	-	2.9	-	3.0	5.9	8.8	3.0	3.0	5.9		3.0
	普 通	70.3	65.8	69.4	78.4	72.7	71.4	69.7	72.7	73.6	66.7	72.8	70.6	70.6	72.8	75.8	73.5		75.8
	悪 い	24.3	28.9	25.0	18.9	27.3	22.9	30.3	27.3	23.5	33.3	24.2	23.5	20.6	24.2	21.2	20.6		21.2
	D・I	-18.9	-23.6	-19.4	-16.2	-27.3	-17.2	-30.3	-27.3	-20.6	-33.3	-21.2	-17.6	-11.8	-21.2	-18.2	-14.7		-18.2
	<b>修正値</b>	<b>-17.9</b>	<b>-24.6</b>	<b>-20.3</b>	<b>-18.3</b>	<b>-26.0</b>	<b>-17.6</b>	<b>-28.7</b>	<b>-25.1</b>	<b>-19.6</b>	<b>-31.6</b>	<b>-23.1</b>	<b>-20.7</b>	<b>-12.0</b>	<b>-20.9</b>	<b>-16.3</b>	<b>-13.0</b>	-4.3	<b>-16.3</b>
	傾 向 値	-40.0		-32.6		-26.8		-24.1		-24.2		-24.6		-22.9		-19.5			
売 上 額	増 加	10.8	5.3	8.3	5.4	3.0	5.6	9.1	3.0	8.8	6.1	6.1	5.9	8.8	3.0	6.1	5.9		6.1
	変 ら ず	64.9	71.0	66.7	78.4	78.8	72.2	66.7	78.8	70.6	72.7	69.7	73.5	64.7	78.8	69.7	70.6		66.6
	減 少	24.3	23.7	25.0	16.2	18.2	22.2	24.2	18.2	20.6	21.2	24.2	20.6	26.5	18.2	24.2	23.5		27.3
	D・I	-13.5	-18.4	-16.7	-10.8	-15.2	-16.6	-15.1	-15.2	-11.8	-15.1	-18.1	-14.7	-17.7	-15.2	-18.1	-17.6		-21.2
	<b>修正値</b>	<b>-8.1</b>	<b>-19.1</b>	<b>-18.7</b>	<b>-10.0</b>	<b>-16.0</b>	<b>-12.5</b>	<b>-17.4</b>	<b>-19.0</b>	<b>-6.8</b>	<b>-16.1</b>	<b>-17.7</b>	<b>-13.0</b>	<b>-16.7</b>	<b>-9.1</b>	<b>-18.3</b>	<b>-20.5</b>	-1.6	<b>-20.5</b>
	傾 向 値	-34.7		-27.5		-22.5		-17.5		-14.9		-14.9		-15.4		-16.1			
収 益	増 加	5.4	5.3	8.3	2.8	3.0	8.3	3.0	6.1	5.9	3.0	3.0	2.9	8.8	-	3.0	8.8		3.0
	変 ら ず	73.0	71.0	63.9	83.3	81.8	66.7	75.8	78.7	73.5	78.8	66.7	76.5	58.8	78.8	72.8	64.7		69.7
	減 少	21.6	23.7	27.8	13.9	15.2	25.0	21.2	15.2	20.6	18.2	30.3	20.6	32.4	21.2	24.2	26.5		27.3
	D・I	-16.2	-18.4	-19.5	-11.1	-12.2	-16.7	-18.2	-9.1	-14.7	-15.2	-27.3	-17.7	-23.6	-21.2	-21.2	-17.7		-24.3
	<b>修正値</b>	<b>-9.8</b>	<b>-20.5</b>	<b>-18.1</b>	<b>-9.9</b>	<b>-15.6</b>	<b>-11.9</b>	<b>-21.6</b>	<b>-13.8</b>	<b>-8.6</b>	<b>-17.2</b>	<b>-23.2</b>	<b>-14.4</b>	<b>-25.0</b>	<b>-14.0</b>	<b>-22.7</b>	<b>-21.6</b>	2.3	<b>-24.4</b>
	傾 向 値	-31.2		-25.1		-21.5		-18.2		-16.3		-17.1		-19.5		-21.3			
価 格 動 向	料 金 価 格	-2.7	0.0	2.7	2.7	0.0	2.8	12.2	3.0	5.9	12.2	3.1	8.9	14.7	12.1	0.0	14.7		3.1
	<b>修正値</b>	<b>-2.2</b>	<b>-1.6</b>	<b>2.4</b>	<b>1.5</b>	<b>0.6</b>	<b>3.6</b>	<b>7.5</b>	<b>1.9</b>	<b>8.1</b>	<b>8.9</b>	<b>3.8</b>	<b>8.8</b>	<b>13.6</b>	<b>12.7</b>	<b>-3.0</b>	<b>13.1</b>	-16.6	<b>1.1</b>
	傾 向 値	-10.8		-6.4		-2.7		0.9		4.1		5.3		7.1		7.5			
	材 料 価 格	16.2	15.8	22.3	16.2	18.2	19.5	27.2	21.2	32.3	27.2	30.3	35.3	38.3	30.3	21.2	29.5		21.2
	<b>修正値</b>	<b>15.7</b>	<b>11.2</b>	<b>22.4</b>	<b>14.9</b>	<b>16.0</b>	<b>21.6</b>	<b>22.3</b>	<b>18.6</b>	<b>31.1</b>	<b>21.5</b>	<b>31.0</b>	<b>33.4</b>	<b>34.4</b>	<b>31.7</b>	<b>19.5</b>	<b>27.6</b>	-14.9	<b>18.0</b>
	傾 向 値	1.7		9.6		14.9		18.6		23.0		26.0		29.5		31.3			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	-13.5	-13.2	-13.9	-10.8	-6.1	-11.1	-6.1	-6.1	-11.8	-9.1	-12.1	-14.7	-8.8	-9.1	-9.1	-5.9		-9.1
	<b>修正値</b>	<b>-11.1</b>	<b>-14.1</b>	<b>-14.2</b>	<b>-9.1</b>	<b>-8.0</b>	<b>-10.6</b>	<b>-9.4</b>	<b>-9.3</b>	<b>-7.0</b>	<b>-10.0</b>	<b>-10.9</b>	<b>-11.1</b>	<b>-11.5</b>	<b>-7.7</b>	<b>-12.5</b>	<b>-10.6</b>	-1.0	<b>-10.8</b>
前 年 同 期 比	売 上 額	-10.8		-5.6		-6.1		-6.1		-11.7		-18.1		-8.8		-18.2			
	収 益	-13.5		-13.9		-12.2		-18.2		-20.6		-27.3		-20.6		-24.2			
雇 用	残 業 時 間	0.0	0.0	-5.6	0.0	3.0	-2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-6.1	-2.9		-6.1
	人 手	-8.1	-2.6	-11.1	-2.7	-12.2	-11.1	-6.1	-6.1	-11.8	-3.1	-9.1	-8.8	-2.9	-3.0	-3.0	-2.9		-3.0
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	10.8	8.1	5.6	2.7	9.1	2.8	0.0	0.0	2.9	0.0	6.1	2.9	2.9	6.1	6.1	5.9		9.1
	借入しない/借入の予定なし(%)	89.2	91.9	94.4	97.3	90.9	97.2	100.0	100.0	97.1	100.0	93.9	97.1	97.1	93.9	93.9	94.1		90.9
	借 入 難 易 度	<b>3.0</b>		<b>3.3</b>		<b>6.5</b>		<b>6.7</b>		<b>10.0</b>		<b>7.4</b>		<b>6.7</b>		<b>10.7</b>			
有効回答事業所数		37		36		33		33		34		33		34		33			

# 中小企業景況調査 転記表 2

令和6年1月～3月期

## サービス業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和4年		令和4年		令和4年		令和5年		令和5年		令和5年		令和6年		対前期比	6年4-6月期
	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	0.0	-2.6	-2.8	0.0	0.0	-2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	実施した・予定あり	2.7	2.7	5.7	0.0	3.0	2.9	3.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	12.1	2.9	6.1	
	事業用土地・建物	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	機械・設備の新・増設	-	-	50.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-
	機械・設備の更改	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0
	事務機器	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
	車両	100.0	-	50.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	100.0	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	97.3	97.3	94.3	100.0	97.0	97.1	97.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.1	94.1	100.0	87.9	97.1	93.9
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	18.9	-	22.2	-	30.3	-	27.3	-	17.6	-	21.2	-	29.4	-	24.2	-
人手不足		13.5	-	16.7	-	12.1	-	9.1	-	11.8	-	6.1	-	8.8	-	3.0	-	-
同業者間の競争の激化		21.6	-	25.0	-	24.2	-	24.2	-	32.4	-	27.3	-	26.5	-	24.2	-	-
大企業との競争の激化		5.4	-	2.8	-	3.0	-	6.1	-	5.9	-	9.1	-	8.8	-	9.1	-	-
合理化の不足		-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-
利幅の縮小		5.4	-	11.1	-	-	-	3.0	-	5.9	-	9.1	-	2.9	-	3.0	-	-
取扱事務の陳腐化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	3.0	-	-
材料価格の上昇		16.2	-	27.8	-	21.2	-	24.2	-	23.5	-	21.2	-	23.5	-	24.2	-	-
料金の値下げ要請		2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人件費の増加		5.4	-	2.8	-	-	-	3.0	-	2.9	-	6.1	-	2.9	-	6.1	-	-
人件費以外の経費の増加		2.7	-	2.8	-	3.0	-	3.0	-	5.9	-	6.1	-	2.9	-	3.0	-	-
技術力の不足		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取引先の減少		2.7	-	2.8	-	6.1	-	6.1	-	8.8	-	3.0	-	2.9	-	-	-	-
商圏人口の減少		5.4	-	5.6	-	6.1	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
地価の高騰		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場の確保難		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店舗・設備の狭小・老朽化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
代金回収の悪化		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天候の不順		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地場産業の衰退		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大手企業・工場の縮小・撤退		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	-	-
その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-
問題なし	48.6	-	38.9	-	42.4	-	42.4	-	35.3	-	36.4	-	38.2	-	42.4	-	-	
重点経営施策(%)	販路を広げる	16.2	-	22.2	-	21.2	-	27.3	-	26.5	-	27.3	-	26.5	-	21.2	-	-
	経費を削減する	18.9	-	19.4	-	27.3	-	33.3	-	35.3	-	36.4	-	35.3	-	33.3	-	-
	宣伝・広告を強化する	10.8	-	13.9	-	15.2	-	9.1	-	8.8	-	9.1	-	8.8	-	12.1	-	-
	新しい事業を始める	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-	-	-	-	-
	店舗・設備を改装する	2.7	-	2.8	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	2.9	-	3.0	-	-
	提携先を見つける	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-	-
	技術力を強化する	8.1	-	8.3	-	6.1	-	6.1	-	5.9	-	9.1	-	5.9	-	3.0	-	-
	機械化を推進する	-	-	-	-	3.0	-	3.0	-	2.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	人材を確保する	8.1	-	8.3	-	6.1	-	3.0	-	5.9	-	3.0	-	2.9	-	3.0	-	-
	パート化を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-	3.0	-	2.9	-	-	-	-
	教育訓練を強化する	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	労働条件を改善する	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不動産の有効活用を図る	2.7	-	2.8	-	3.0	-	3.0	-	2.9	-	3.0	-	5.9	-	3.0	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特になし	54.1	-	47.2	-	45.5	-	42.4	-	41.2	-	39.4	-	41.2	-	48.5	-	-	
有効回答事業所数	37	-	36	-	33	-	33	-	34	-	33	-	34	-	33	-	-	

## 江東区 中小企業の景況

(令和5年度第4四半期 江東区中小企業景況調査報告書)  
令和6年1月～3月期

- 【発行】江東区地域振興部経済課  
〒135-8383 東京都江東区東陽 4-11-28  
TEL：03（3647）2332 ダイヤルイン
- 【分析】株式会社 サーベイリサーチセンター  
〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2-40-10  
TEL：03（3802）6711 （代表）
- 【調査】一般社団法人 東京都信用金庫協会  
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-8-1